

成人歯科保健事業 事例集

平成 26 年 3 月

厚生労働科学研究

住民のソーシャル・キャピタルの涵養を通じた

効果的・効率的な歯と口の健康づくりプログラムの開発と効果の検証

研究班 編集

研究代表者 山本龍生 神奈川歯科大学

研究分担者 近藤克則 日本福祉大学

研究分担者 平田幸夫 神奈川歯科大学

研究分担者 相田 潤 東北大学

目 次

目 次	1
はじめに	2
事例集の作成手順	2
事 例	
妊婦への歯科保健事業、または妊婦への一般的な健康教育の中に歯科を組み入れている事業（37 事業）	5
歯周疾患検診または歯周病を目的とした検診（妊婦のみ対象を除く）（65 事業）	24
介護予防に関連する事業（81 事業）	57
その他（妊婦対象とか歯周疾患予防目的といった単独的な事業でなく、複合的な目標を設定した事業、少人数で健診から指導までを複数回にわたって行う事業、サポーター養成事業、イベント的な事業、歯科ドック、口腔がん検診など）（70 事業）	100

はじめに

わが国の国民の口腔内状況は、特に子どものう蝕の有病状況や高齢者の現在歯数において、経年的に改善してきていることが、国の統計などによって明らかになっています。しかしその一方で、国民の口腔内状況には地域差が存在し、その地域差は経年的に縮小傾向がみられず、かえって拡大しているという指摘もあります。

国民の口腔保健の保持・増進を進めるにあたり、自治体における歯科保健事業が重要です。しかし、自治体に必ずしも歯科保健専門職が配置されているとは限らず、全国一様に歯科保健事業が推進されているとは思えません。

そこで我々研究班は、全国の市区町村の歯科保健担当者に対して、平成 24 年度に、歯科保健事業に関する実態調査を行いました。特に、母子歯科保健や学校歯科保健に比較して、法的根拠に乏しく推進が進んでいないと考えられる成人歯科保健について、過去に効果的な事業があったかどうかを尋ね、効果的な事業 1 つを選択してもらい、その概要を収集しました。

そして、収集した事例を検討し、歯科保健事業が進んでいない自治体や歯科保健担当者が不在の自治体において参考にしていただき、国民の口腔内状態の地域差是正に資するべく本事例集を作成しました。自治体担当者の皆様におかれましては、本事例集をご覧になっていただき、成人対象の歯科保健事業の立案のヒントにしていだけましたら幸いです。

事例集の作成手順

調査期間：平成 24 年 11 月～平成 25 年 3 月

調査対象：全国の 1,742 市区町村

調査内容：本事例集で用いた調査票の該当部分を以下に示す。なお、問 6 の 6) についてはほとんど回答がなかったため削除し、回答があったものは問 6 の 5) に追加した。

問 6. 貴市区町村で効果があったと考えられる、成人対象の歯科保健事業を 1 つ選んでお答えください。

1) 事業名をお答えください。

()

2) 対象とした歯科疾患をお答えください（複数回答可）。

1. むし歯 2. 歯周病 3. 介護予防(口腔機能向上) 4. 口腔がん 5. その他()

3) 対象者をお答えください（複数回答可）。

1. 概ね健康な 20～60 歳 2. 妊婦 3. 健常高齢者 4. 要介護高齢者 5. その他
--

4) 事業の目的をお答えください。

()

5) 事業の概要をお答えください。また、要項を添付していただければ幸いです。

6) その他の事業で特徴的なものがあれば、ご記入ください。

7) 住民への周知の方法をお答えください(複数回答可)。

1. ダイレクトメール 2. 新聞 3. テレビ 4. ラジオ 5. 回覧板 6. ポスター
7. ホームページ 9. 市区町村の広報誌 10. その他()

8) 実施の方法をお答えください(1つに○をつけてください)。

1. 単独で実施 2. 他の事業と合同で実施 3. その他()

9) 財源をお答えください(複数回答可)。

1. 国 2. 都道府県 3. 市区町村 4. その他()

10) 人的資源(スタッフ延べ人数)をお答えください。

()名

11) 結果(成果)をお答えください(複数回答可)。

1. 有病率の減少 2. 健康行動実践者の増加
3. 正しい知識を持つ者の増加 4. その他()

12) 連携機関をお答えください(複数回答可)。

1. 歯科医師会 2. 歯科衛生士会 3. 大学
4. 医療・介護・福祉施設 5. その他()

成人対象の歯科保健事業の事例の回答があった自治体数（=事業数）：351

事例集に掲載した自治体数（=事業数）：253

- 複数の事例が一緒に掲載されたもの、事例の内容が具体的でないもの、評価ができていないものは除いた。
- 要綱が添付されていたものは、その内容の概略を記入した。

分類：以下の4つに分類した。

- 妊婦への歯科保健事業、または妊婦への一般的な健康教育の中に歯科を組み入れている事業（37事業）
- 歯周疾患検診または歯周病を目的とした検診（妊婦のみ対象を除く）（65事業）
- 介護予防に関連する事業（81事業）
- その他（妊婦対象とか歯周疾患予防目的といった単独的な事業でなく、複合的な目標を設定した事業、少人数で健診から指導までを複数回にわたって行う事業、サポーター養成事業、イベント的な事業、歯科ドック、口腔がん検診など）（70事業）

事 例

- 妊婦への歯科保健事業、または妊婦への一般的な健康教育の中に歯科を組み入れている事業（37 事業）

妊婦 1

事業名	母親学級での歯科健診及び歯科指導
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠期及び乳児期の歯科保健を理解し、口腔衛生を保つ行動がとれる。
事業の概要	妊婦の歯科健診を行い、結果を伝えて全員終了したら、受診者全員に歯科医、歯科衛生士が健康教育を行う。 平成24年度から3歳児健診に同伴する保護者の歯科健診を行う事にした。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 母子健康手帳発行時周知
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	12
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 2

事業名	育児支援の会での歯科指導
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦
事業の目的	子どもの歯だけでなく、お母さんの歯もしっかりケアが必要。
事業の概要	子どものう歯予防だけでなく、親の歯のう歯・歯周病予防について、ブラッシング指導を実施しながら実施。
住民への周知方法	その他育児支援の会のおたより
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	その他保健所

妊婦 3

事業名	母親学級
対象歯科疾患	歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠期におこる口腔の変化を知り、対処する方法を学ぶ。
事業の概要	・妊娠期の口腔内変化とその対処法。 ・歯周病と早産の関係。 ・出産前の歯科医院受診をすすめる。 ・乳歯う蝕予防の知識。
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

妊婦 4

事業名	マタニティクラブ
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊婦が健康的な口腔内で過ごせ、母子感染が予防できる。
事業の概要	・妊娠期における歯周病及びむし歯をテーマとした講話や歯みがき実習
住民への周知方法	市区町村の広報誌 母子手帳交付時
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	10
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 5

事業名	たまごくらぶ(前期)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	母子手帳や健康診査受診票の発行の場を利用した、妊娠期健康教育、相談
事業の概要	妊婦とその天対象の歯科健康教育、歯科相談、歯科健診助成、歯科保健指導2か月121回開催他随時
住民への周知方法	回覧板 ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	12
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 6

事業名	母親教室における成人歯科検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	成人(妊婦)の歯科保健の向上と子どものむし歯をつくらない意識づけへの働きかけ
事業の概要	妊婦を対象とした母親教室の中で、受講者に対し、歯科衛生士による歯科講話と妊婦歯科健康診査を実施している。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 母子手帳交付時案内板を提示し説明
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

妊婦 7

事業名	両親学級
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦 その他
事業の目的	妊婦の意識を向上させることにより、生まれてくる子をむし歯にしない。
事業の概要	対象者：妊娠 5 ヶ月以降の妊婦と夫 定員： 1 回目：おおむね 25 組まで 2 回目，3 回目：それぞれ 25 名 スタッフ： 1 回目：保健師，助産師，看護師，歯科衛生士 2 回目：保健師，助産師，看護師，ヨーガ講師，先輩ママ 3 回目：保健師，助産師，看護師，栄養士 内容： 1 回目：妊娠中の口の中の健康，妊娠から出産まで(ビデオ)，パパの妊婦体験，お風呂の入れ方(実習) 2 回目：妊娠中の過ごし方とおっぱいの手入れ，マタニティ・ヨガ，先輩ママの体験談 3 回目：お産と産後の健康管理について，妊娠中の栄養(実習)
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 その他母子手帳交付時に案内する。
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	14
結果(成果)	有病率の減少 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

妊婦 8

事業名	妊婦歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊婦の口腔衛生の向上、かかりつけ歯科医、産まれてくる子の口腔衛生に関心を持つ
事業の概要	・委託歯科医院で個別に歯科健診を受ける。 ・母子健康手帳交付時に、受診券を交付し、歯科医院を受診する。 ・健診期間は、交付日から出産の日まで
住民への周知方法	ポスター 手渡しし、説明
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1
結果(成果)	受診者中の子どもの3歳児むし歯有病者率が受診していない方より割合が少ない
連携機関	歯科医師会

妊婦 9

事業名	妊婦健診(歯科)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	疾病の早期発見、早期治療に努め安全な妊娠と出産を図る。
事業の概要	妊婦歯科健診の助成。 昨年度までの受診率よりも倍近く受診率が増えている。 受診券発行を保健センターのみとし、受診の必要性を伝えたため。
住民への周知方法	受診券配付時
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	担当 1 名 業務に関わるスタッフ 8 名
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 10

事業名	母親学級
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	円滑な育児のための正しい知識の普及および交流の場の提供
事業の概要	・妊娠中の口腔衛生および小児の口腔衛生に関する講話 ・歯垢染め出し実習
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 母子手帳交付時に配布するチラシ
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

妊婦 11

事業名	妊婦歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠中の口腔ケアに関する知識の普及と歯みがき実技の習得及び 歯科疾患の早期発見
事業の概要	「はじめてママになるための教室」(初妊婦を対象にした、妊娠、出産、育児について正しい知識の普及や友達づくりを目的とした教室)の参加者に「妊婦歯科健診のご案内」のチラシを配布し、希望者はチラシに記載された日時に会場へ来所する。 当日は、口腔内汚れ検査、歯みがきの実技等のグループ指導、歯科医師による歯科検診を行う。
住民への周知方法	「はじめてママになるための教室」受講者へチラシ配布
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	72
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 12

事業名	両親学級
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠・出産育児する知識の普及のため、講義及び実技指導を行う。
事業の概要	ひまわりクラス:一般妊婦, 年 6 回 タンポポクラス:勤労妊婦及びその配偶者, 年 4 回 いずれも一般的な両親学級で, 歯科医師・歯科衛生士が講師となつて歯科からの支援を行う。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	8
結果(成果)	有病率の減少 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 その他

妊婦 13

事業名	妊婦歯科健診(母親学級と同時開催)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 その他
対象者	妊婦
事業の目的	モチベーションの高いと思われる妊婦の時期に、自身に虫歯・歯周病予防等を知ってもらふ事で、赤ちゃん、ご主人にも好影響がある。
事業の概要	妊婦歯科健診と母親学級(20日)「皆で楽しくブラッシング」健診結果で必要な方は後日の予約で「SC などの予防処置」や、「個別のブラッシング(詳細)」等を行って行く。 母親学級では必ず、歯間ブラシやフロスも体験していただき今後の必要性を伝える。 歯肉炎の方の割合が多いが、これをきっかけして治ゆする所まで体験するケースが多い様だ。 人口の少ない地域なので、赤ちゃんが誕生してからも「親子で個別相談」を利用される方もけっこういる。(継続的な利用)
住民への周知方法	ポスター 市区町村の広報誌 チラシ・防災無線
実施の方法	その他
財源	
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	有病率の減少 正しい知識を持つ者の増加 赤ちゃんからの歯のケア等にも、積極的な親ごさんが増える
連携機関	なし

妊婦 14

事業名	両親学級
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠、出産により新たな家族を迎えることを契機に、妊婦と家族の健康づくりを考え、実行できるように、妊娠、出産、育児に関する健康教育を総合的に行う。
事業の概要	原則として本市在住の概ね20～28初妊婦とそのパートナーを対象に、3日間1コースとして妊娠、出産、育児に関する健康教育を行う。 妊娠による口腔内状態の変化によりう蝕や歯周疾患などに罹患しやすくなることから、妊娠を契機に自身の口腔状態を見直してもらい、比較的若い年齢からの歯周疾患予防等の重要性を伝え、かかりつけ歯科医を持つことや定期的な歯科健診受診の勧奨を行い、生涯にわたる歯および口腔の健康保持・増進を図る。 また、生まれてくる児をむし歯のない子に育てるための歯科保健の重要性を併せて指導する。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 母子手帳交付時案内用紙配布
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

妊婦 15

事業名	プレママ・プレパパのための歯科教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠中に自分の口腔内の状況を知り、口腔に関する正しい知識得ることで、本人のみならず子どもや家族の歯及び口腔の健康づくりに、積極的に取り組むようになることを目的とする。
事業の概要	対象者:妊婦と配偶者等(健診は妊婦のみ)、会場:保健所 時間:1回1時間、従事者:歯科医師、歯科衛生士、定員:12名 内容:妊娠中の歯に関すること、乳幼児期の歯に関すること
住民への周知方法	市区町村の広報誌 母子手帳交付時にチラシ配付
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

妊婦 16

事業名	エンジョイ！マタニティ 歯っぴーまたにていらいふ
対象歯科疾患	歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	赤ちゃんの口腔機能の獲得、妊婦を含めた家族のプラークコントロール
事業の概要	エンジョイ！マタニティ 3日間1クールの中の1日の中で実施。 約1時間虫歯と歯周病予防について講義、その中でブラッシング実施指導含
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士

妊婦 17

事業名	妊婦歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊婦の口腔内の衛生状態を改善することで健康的で安全な出産を促すとともに妊婦自身及び乳幼児への予防歯科に対する認識を高めることを目的とする。
事業の概要	対象:妊娠初期から中期の妊婦 実施場所:歯科医師会に加入する医療機関 内容:市は妊娠の届出をした者に受診票を発行する。交付を受けた者は実施医療機関に受診票を提出し、歯科健診を受診する。健診回数は1回とする。 ①歯科及び歯周疾患健診 ②健診結果に基づく指導 ③健診結果の記載 ④治療勧告
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 母子手帳交付時にPR
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	有病率の減少 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 18

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	生活習慣病予防対策の一環として、検診を実施し、妊娠期から健康についての意識や関心を高める。
事業の概要	地域の歯科医師会と連携し、実施している。 問診、CPI、口腔内の状況、清掃状況等を、検診用紙に記入している。
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌 コミュニティテレビ
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 19

事業名	妊婦さんの歯の教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	母親(父親)の歯を含めた健康管理意識を高める。
事業の概要	口腔内に変化が起こりやすく、歯科疾患にかかりやすくなる妊娠中に、妊婦さんご自身と生まれてくる赤ちゃんのお口の健康について考える機会として、月1回の年12回教室を開催し、歯科健診・RDテスト・歯の染め出し・歯科相談・歯科医師による歯科講話等を実施。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 20

事業名	パパママ学級
対象歯科疾患	歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	胎児の健やかな成長
事業の概要	妊婦学級のメニューの1つに歯科衛生士による、歯周病チェックを入れて、啓発をする。
住民への周知方法	妊娠届出時、年間カレンダー
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	地元歯科衛生士

妊婦 21

事業名	妊婦歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠中の歯周疾患の予防と早期発見
事業の概要	妊娠5ヶ月から7ヶ月の間に、歯科医療機関で、RD・サリバースー検査を実施
住民への周知方法	ポスター 母子手帳交付時
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 22

事業名	パパとママの教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠中から歯科家庭医を持ち、妊娠期の口腔の特性や胎児への影響について学び、生涯を通じて口腔の健康づくりに取り組めるきっかけを作る。
事業の概要	パパとママの教室(4回コースの内、1回目が歯科保健の内容となっている)
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 母子帳交付時にご案内の配布
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	9
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 23

事業名	成人(妊婦)歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦 健常高齢者
事業の目的	やがて母親となるべく妊婦に対し、健診及び個別指導を行い、歯科に関する意識を高め、家族へと広がっていくよう支援することを目的とする。
事業の概要	母子手帳発行時にお渡しする「妊婦乳児健康診査受診券」という母子の中に、歯科健診受診券を入れて説明を添えて配布し、希望日に予約をした上で集団健診を実施。 健診内容は、口腔内診査及び個別指導実施。 受診者のライフスタイルを想定し、平日のみならず、日曜日にイロ事業を併せて本事業を実施し、受診率の向上につとめている。 (以前は、広報もHPのみで周知していたが、受診券を入れこむこのスタイルにしてから、受診数は増加傾向にある。)
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 上記方法にて
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	8
結果(成果)	健康行動実践者の増加 受診数の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 24

事業名	マタニティ教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠・出産・育児について、正しい知識を身につける。
事業の概要	第1回から第4回までの4回コースを年に3回行う。 歯科保健と関することとしては、第3回目に歯科衛生士によるうまれてくる子をむし歯にしない食事等の講和や、歯みがき指導を行っている。
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌 妊娠届提出時チラシ配布
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

妊婦 25

事業名	成人歯科保健推進事業
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦
事業の目的	歯科健康診査及び歯科保健指導を実施し、歯科保健の普及啓発を目的としている。
事業の概要	子供の1歳6ヵ月児健康診査時に、保護者(主に母親)の成人歯科健康診査が受診でき、待ち時間を有効に利用した事業である。 出産、育児と時間に追われ口腔について気になることがあると(52.2%)高い状況でありながら歯科受診が難しく滞っている保護者に対し、歯科保健の普及啓発を実施している。
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 26

事業名	妊婦歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 その他
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠中に適切な口腔管理をすることにより、母体の健康管理と、むし歯菌の母子感染を防ぐ(早着予防)。
事業の概要	平成20年度までは、各区役所において指定日を設け、集団健診を実施していたが、平成21年度からは指定医療機関における個別健診方式に実施方法を変更したことにより、受診機会の拡大につながった、また、安定期での受診につながっている。 健診内容: 口腔内診査、妊婦歯科健診結果の判定、結果の説明および口腔保健指導
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 母子健康手帳交付時に案内(ちらし受診券)
実施の方法	その他
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 かかりつけ医の定着促進、受診率の向上
連携機関	歯科医師会

妊婦 27

事業名	たまごクラスひよこクラス歯科健康教育
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦
事業の目的	妊娠中の口腔ケア
事業の概要	妊娠、出産育児についての学習、妊婦同士や産婦との仲間づくり不安や悩みの相談の場、また配偶者の育児参加の機会となる場を提供し子育てと対する周囲の理解と協力の中で心にゆとりを持ち楽しみながら子育てできるように実施する。 1回目 妊娠中の日常生活 先輩ママとの交流 リラックス法 2回目 妊娠中の口腔ケア 妊娠中産後の食生活 調理実習 3回目 沐浴体験 赤ちゃんの育て方
住民への周知方法	市区町村の広報誌 その他
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 28

事業名	妊婦歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	母子間の虫歯菌垂直感染防止、家児の口腔衛生に関する保護者の関心を高める。
事業の概要	町内歯科医と1件500円にて委託契約を行い、母子手帳交付時に妊婦に受診券を手渡し、歯科健診の重要性の啓発を図る。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	歯科医の受診・治療につながった。
連携機関	町内歯科医院

妊婦 29

事業名	妊婦歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 その他
対象者	妊婦
事業の目的	妊婦の口内の健康を保ち、出生する児のむし歯を予防することを目的とする
事業の概要	市民である妊婦に対し、妊娠中に1回無料で口腔内診査と相談を行う。 市内協力歯科医療機関にて実施
住民への周知方法	ポスター 市区町村の広報誌 妊娠届出時に案内文配布
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	25
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 30

事業名	妊婦歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠中から、口腔衛生に関する意識を高め、子のむし歯予防を図る。
事業の概要	・母子手帳交付時に、妊婦歯科健診問診票を交付 ・妊娠中に1回のみ 市内の契約医療機関において、無料で受診できる。 ・受診後は、事前に医療機関に依頼してある、リーフレットを用いて口腔衛生指導を実施。
住民への周知方法	母子手帳交付時に説明
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 31

事業名	妊婦歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	歯科健康診査を受けやすい体制を整備し、妊婦の歯周疾患等の発病や悪化を予防し、健康管理の充実を図る。
事業の概要	歯科健診は歯科医師会所属の医療機関で行う。 妊婦1人につき1回とする。 内容は、問診、口腔内診査、妊婦歯科健診結果表・母子健康手帳への記入、保健指導とする。 妊娠の届け出があった時には受診券を交付する。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 食生活改善推進員連絡協議会、歯科技工士会

妊婦 32

事業名	妊婦歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	歯科疾患の予防早期治療により、妊婦及び出生児の口腔衛生の向上を図る。
事業の概要	母子健康手帳交付時に、受診券を交付し、市内の契約している歯科医院で個別に健康診査を受診する。
住民への周知方法	ホームページ 母子健康手帳交付時説明
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	有病率の減少
連携機関	歯科医師会

妊婦 33

事業名	母親学級
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠、分娩、育児に関する情報提供、不安の軽減、知識を香る、参加の者の仲間づくり
事業の概要	年4回コース(1コース3回) ・1回目 妊娠中の栄養、歯科医師による講話、歯科検診 ・2回目 妊産婦体操、グループトーク ・3回目 赤ちゃんの沐浴、赤ちゃんとの交流
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 チラシ保健推進員による訪問
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

妊婦 34

事業名	妊婦歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠期における、むし歯の母子感染の予防
事業の概要	歯科医師会加入歯科医院等の実施歯科医院へ委託し、個別健診を実施。 ＜内容＞ 歯科健康診査、口腔保健指導、赤ちゃん健康歯科相談、唾液検査
住民への周知方法	ホームページ その他母子手帳発行時に説明受診券配布
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	33
結果(成果)	早期発見、治療の推進
連携機関	歯科医師会

妊婦 35

事業名	妊婦歯科検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	妊娠中の歯科管理と、子どものう歯予防にもつながる。
事業の概要	妊婦に対して、内診(保健師)、歯科検診(歯科医師)、ブラッシング指導(歯科衛生士)
住民への周知方法	妊娠届時のご案内
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1 回に 6
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 産後も口腔衛生管理の継続
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

妊婦 36

事業名	妊産婦歯科健診事業(ママの歯ぴいチェック)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦
事業の目的	歯周疾患の症状並びに、う蝕が進行しやすい妊産婦に対し、その口腔保健行動の改善を促し、望ましい口腔保健状態の維持、増加並びに日常生活におけるQOLの向上に貢献する。
事業の概要	協力歯科医院(市歯科医師会委託)において、妊産婦歯科健康診査及び歯科保健指導を実施 妊産婦、歯科健診事業に伴う子供の務り事業(この健診を受診する際、歯科医院待合室で、就学前までの同伴乳幼児の保育)を実施
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 チラシ配布
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 その他保育関連団体

妊婦 37

事業名	成人歯科健診(妊産婦無料歯科健診)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	妊婦 その他
事業の目的	妊産婦無料歯科健診
事業の概要	市内に住んでいる20歳以上の方を対象に、600円の自己負担金で口腔内診査を実施。 ※(同日、治療はできない) その中で、20歳以上の妊婦と出産後1年未満の産婦の方を対象に、母子健康手帳を持参すると無料になる歯科健診も実施
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 大学

- 歯周疾患検診または歯周病を目的とした検診（妊婦のみ対象を除く）（65 事業）

歯周 1

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	1 本でも多くの歯を保っていつまでもおいしい食事を楽しむ。
事業の概要	対象者:40、50、60、70 歳 申し込み:市役所 検診場所:指定された歯科医院 料金:300 円 検査:問診、歯周組織検査
住民への周知方法	新聞折込チラシ
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 2

事業名	節目総合健診での歯周病検査
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	8020達成者数の増加
事業の概要	対象:35、40、45、50、55、60 歳 場所:保健センター
住民への周知方法	市区町村の広報誌 個別案内
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 3

事業名	成人歯科健康相談
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	様々な歯や口の相談に応じ、広く住民の口腔保健行動の改善を図る。
事業の概要	特定健康診査、青年期健康診査会場において、成人を対象とした歯科健康相談を開設している。歯周病に代表される様々な口の病気についての健診とその結果に基づいた個別のブラッシング援助を行っている。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 特定健診票と同時送付
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	33
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 4

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周病を予防し、生活習慣病も防ぐ
事業の概要	・対象: 40歳・50歳・60歳・70歳 ・実施期間: 7月1日から12月末 ・実施場所: 市内全歯科医院 ・検診料: 自己負担はなし(委託料1人の2900円)
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	10
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 5

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	自分の口腔内に興味を持ち、自分にあった適切な口腔ケアができる。
事業の概要	対象者40、50、60、70歳の市民 実施日時、集団健診と同時実施 年6回 受付7:15から 診察8:15から (5/11、6/22、7/5、8/21、10/30、11/27) 実施場所、健康推進機構検診センター 実施内容、歯科医師による診察、歯科衛生士による歯科健康相談 料金、500円(満70歳以上は無料)
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 他の健診と合わせての個人通知
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 受診者の早期治療
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 6

事業名	総合健診時の歯科健診(歯周ポケット測定)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者 その他
事業の目的	定期健診と歯周病についての理解を深める
事業の概要	総合健診時に歯科医師会、在宅歯科衛生士の協力のもと歯科健診を実施(6月に4日間) 歯科医師による健診、ポケット測定後、歯科衛生士による個別歯みがき指導を実施している。
住民への周知方法	保健委員によるチラシ配付
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会 在宅歯科衛生士

歯周 7

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	歯周疾患の早期発見・早期治療
事業の概要	1. 対象者:40歳以上の市民 2. 各歯科医院で個別検診 3. 委託契約により実施 4. 実施時期:6月から10月 5. 検診希望者に受診券を交付し、実施
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	歯科医師 21 市職員 2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 8

事業名	歯周病検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	高齢期においても食べる楽しみを享受できるよう、歯の健康を維持し、歯周疾患による歯の喪失を予防する。
事業の概要	町長が指定した町内の医療機関において、 ①歯周疾患に関連する自覚症状の有無等 ②歯及び歯周組織等口腔内の状況 について検査をする。 受診回数は1人1回。 検診に要する費用4,300円のうち、1,300円を自己負担。
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 9

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	高齢期に向け、歯科における健康を維持し、歯の喪失、歯周疾患を予防する。
事業の概要	期間:5月～1月 対象者:40, 50, 60, 70 歳 検診項目:問診, 歯周組織検査 指導:厚生労働省歯周疾患検診マニュアルに基づく
住民への周知方法	市区町村の広報誌 受診券の送付時に案内を同封
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 10

事業名	歯周疾患
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	自分の歯で一生食べられるように、歯周疾患の早期発見・早期治療につなげる。
事業の概要	40歳、50歳、60歳の方(8852人)に歯周疾患の個別の通知を送送。 登録歯科医療機関にて自己負担500円で受診できる。 また、検診は歯周疾患の検診のみでなく、軟組織や口腔がんのチェックも実施している。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 個人通知
実施の方法	
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 11

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健康高齢者
事業の目的	歯周疾患の早期発見と受診勧奨
事業の概要	対象者: 年度年齢40・50・60・70歳の男女 検診内容: 問診(保健師) 診察(歯科医師) 個別相談(歯科衛生士) 女性: 骨粗しょう検診 男性: 大腸がん検診・前立腺がん検診・肝炎ウイルス検診 と同時実施
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 個人通知
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	10
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 12

事業名	成人歯科検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	成人期のむし歯・歯周疾患を予防し、8020を推進する
事業の概要	実施期間: 平成22年7から9月の14回 対象者: 40歳以上の希望者 実施方法: 集団検診 実施会場: 保健センター、公民館等 内容: 口腔内検診、口腔機能チェック 歯科保健指導、保健指導
住民への周知方法	市区町村の広報誌 個人通知(他の検診の案内と一緒に)
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	114
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 13

事業名	成人歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	生涯を通じて食べる楽しみを享受でき、健康で豊かな生活が送れるよう、口腔の維持・向上を図る。
事業の概要	対象者:30 歳以上で勤務先等で歯科健診を受ける機会がない人 期間:6 月～11 月 受診者は医療機関に予約をとり、受診票と健康手帳を持参し、成人歯科健康診査を受ける。 検査内容:問診、口腔内診査(現在歯の状況、喪失歯の状況、歯周組織の状況、口腔清掃状態、その他の所見) 受診者負担金:300 円
住民への周知方法	ダイレクトメール ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 14

事業名	8020歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	歯科疾患の早期発見により、健康な生活人の関心を高める。
事業の概要	・年度内に30から80歳に達する市民を対象に、市内医療機関で、現在歯の状況、歯の状況、口腔清掃状況、咀嚼、嚥下機能の状態の検査を行う(自己負担額700円) ・市歯科医師会に委託して行っている。 ・年度内に30、40、60歳に達する対象者には、前年度3月下旬に受診券を送付。その他の対象者には、電話申込後、受診券を発送する。
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 個別通知
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	348
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 15

事業名	成人歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯科疾患を早期発見し、歯周疾患の予防やかかりつけ医での検診や治療を行い自分の歯の健康を保持増進できるようにする。
事業の概要	実施方法：肺がん、結核検診等と同時実施 申し込み方法：当日申し込み（平日先着20名・日曜先着40名） 費用：無料 対象者：18歳以上の市民 実施回数：12回 内容：歯科医による診察（歯科疾患検診含む）歯科衛生士による個別歯科相談 会場：保健センター等4カ所
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 保健事業案内
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源（スタッフ延べ人数）	51
結果（成果）	有病率の減少 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 16

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	口腔衛生知識普及・口腔疾患予防、早期発見と治療の推進
事業の概要	対象者（40、50、60、70歳）に対し、毎年6月1日から11月30日までの6か月間年1回、協力歯科医療機関において、歯周疾患検診を実施する。
住民への周知方法	ポスター 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源（スタッフ延べ人数）	
結果（成果）	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 医師会、薬剤師会

歯周 17

事業名	歯周病検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	高齢期における健康を維持し食べる楽しみを享受できるよう歯の喪失を予防する。
事業の概要	成人歯科(歯周疾患)検診 ・平成21年度から実施。 ・実施状況、平成21年(26名)、平成22年(15名)、平成23年(19名)、平成24年(15名)。 ・定員40名だが、受診者が、少ない状況があり、周知方法の検討が必要 ・受診者の9割は治療が必要であり、歯肉の出血もみられている。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 40から70歳の節目の方に個人通知
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	7
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 18

事業名	成人歯科検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周疾患の早期発見及び早期治療を促進し、住民の健康保持・増進に資する。
事業の概要	対象者:40・45・50・55・60・65・70歳の住民(平成19年度に65歳を追加) 検査内容:問診、口腔内診査、現在歯の状況、喪失歯の状況、歯周組織の状況、口腔内清掃状況
住民への周知方法	回覧板 ホームページ 市区町村の広報誌 個別通知
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 19

事業名	歯周病健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	高齢期における歯周疾患の改善の機会を設け、歯と口の健康維持と歯の喪失予防をすることを目的とする。
事業の概要	40～80歳区民を対象に、歯周病を中心とした歯科健診、相談を歯科医師会に委託して、指定医療機関において無料で実施している。平成23年度は40歳を対象に、平成24年度は50歳に受診を勧奨。
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ イベント等にてチラシ及び申し込みハガキの配布
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 20

事業名	成人歯科健康診査
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯周疾患の予防並びに正常な口腔機能の保持及び増進を図る。
事業の概要	①対象:30歳以上の市民、②実施期間:2か月間(9月、10月) ③会場:市内協力歯科医院 ④内容:・歯周疾患健診(30から64歳)・高齢者の口腔機能健診(65歳以上)、⑤費用:無料 ⑥通知:40、50、60から70歳には勧奨通知送付、その他の年齢は申し込み後受診券送付 ⑦結果:各協力歯科医院で複写3枚目の受診者控を渡し保健指導を行う(1枚目:医療機関控 2枚目:布控) ⑧フォロー講座:必要に応じて集団健康教育を実施
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 課の事業でのちらし配布、後期高齢医療健診通知にちらしを同封、配信メール
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 21

事業名	お口の健康診査(歯周疾患検診)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周病による歯の喪失を予防するために、市内の指定歯科医療機関において実施している。
事業の概要	実施期間、7月2日から12月28日 対象、4月1日現在 30歳、40歳、50歳、60歳、70歳 実施方法 対象者全員に勧奨通知を送付 歯科医師会に事業を委託
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 対象者へ勧奨通知
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 22

事業名	成人歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周疾患の早期予防, 歯の健康意識の向上
事業の概要	40歳以上の歯科治療を要しない者対象に、6月から12月の間実施。 対象者はあらかじめ送付した受診券を持って指定医療機関で受診。 自己負担金は500円。
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 23

事業名	口腔健診(歯周疾患検診)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 その他
対象者	その他
事業の目的	口腔内疾患の早期発見、受診勧奨
事業の概要	・40から70歳の希望者(自己負担額1,000円、70歳は無料) ・唾液潜血試験、咀嚼能力判定試験の実施 ・口腔内診査 ・歯科衛生士による歯科保健指導
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	12
結果(成果)	有病率の減少 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 24

事業名	医療機関委託成人歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	成人の口腔状態を健全に保つ
事業の概要	年齢35、40、45、50、55、60、70歳の市民に歯科健診及び歯科保健指導を実施 受診券は事業開始前に対象者へ送付 希望者は受診券をもって指定医療機関へ受診 受診率が低いときは実施期間中に未健者へ個人通知し、受診をすすめる 40、50、60、70歳は口の補助対象、35、45、55歳は市単で実施
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 25

事業名	成人歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯の喪失を予防し、生涯にわたる健康の維持と食べる楽しみを享受できること
事業の概要	対象:40, 45, 50, 55, 60, 65, 70 歳 申し込み方法:対象者に受診券を送付し、対象者が医療機関に申し込む。 歯科健診項目:問診、口腔内診査(現在歯の状況、喪失歯の状況、歯周組織の状況、口腔清掃状態、その他の所見) 保健指導 歯周疾患検診票への記入
住民への周知方法	成人歯科健康診査結果のお知らせ
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 26

事業名	噛む力の能力の判定や歯周病の判定
対象歯科疾患	歯周病 その他
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	市民が自分の歯の健康について関心を持ち歯周病等予防について知識を得ることができる。
事業の概要	1. 健康診査、特定健診の会場で行う。 2. 検査内容:唾液潜血試験、咀嚼能力判定試験、おくちのさわやかアンケート 3. 事業委託:県歯科保健協会 協会より歯科衛生士2名を派遣してもらい、上記検査を実施し、結果をもとして歯周病予防や咀嚼能力などについて、個別指導を行う。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 健診会場での勧め
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	県歯科保健協会

歯周 27

事業名	成人歯科健診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周疾患予防、歯科保健意識の向上、定期歯科健診の定着
事業の概要	・問診 ・歯科健診(直接健診) ・間接健診(咀嚼能力判定試験、唾液潜血試験) ・健康相談
住民への周知方法	市区町村の広報誌 市で実施の集団健診、申込の文書
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 28

事業名	歯やお口の健康チェック事業
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯やお口のチェックを行うことで、生活習慣病予防、介護予防をすすめていく
事業の概要	・村の特定健診会場で、咀嚼力判定試験と唾液潜血試験を実施。事前に健診対象者に「歯やお口の健康チェック」問診票を配布し、健診当日に希望者に実施。 健診の流れの中に組み込まれているため、拒否する人は比較的少ない。 問診票やお口の検査は、歯科衛生士、3名が行い、結果をもとに、個別に指導し、必要な人には、受診をすすめる。
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	6
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	大学 在宅歯科衛生士会

歯周 29

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	高齢期に自分の歯を十分に保持し食べる楽しみを享受して豊かな人生を送ることができるように歯の喪失を予防すること
事業の概要	対象者:市に住所を有する40、45、50、55、60、65及び70歳 内容:問診、現在歯・喪失歯の状況、歯周組織の状況、口腔清掃の状況、その他(軟組織疾患、不整咬合等)、健診結果の説明と歯科保健指導 実施方法:市歯科医師会へ委託し、市内指定歯科医療機関が実施 実施期間:平成24年6月1日から11月30日(6か月間) 周知方法:健康ガイド、市広報、ちらしの配布、ポスター 掲示等
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 30

事業名	総合健康診査、成人歯科健康診査事業
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上) 口腔がん
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦 健常高齢者 要介護高齢者 その他
事業の目的	市民が口腔内の健康にも関心をもち、歯みがき習慣や生活習慣を改善し、口腔内の健康の維持管理ができるよう支援する。
事業の概要	対象:総合健康診査受診者で成人歯科健康診査を希望する者 従事者:歯科医師 1 名、歯科衛生士 1 名、記入事務者 1 名 歯科診察:歯科医師(歯・喪失歯の状況、歯肉の状況、その他の所見、検診結果) 歯科指導:歯科衛生士(歯周病予防、生活習慣の改善に重点を置く。ブラッシング指導を実施し、受診者に歯ブラシを配布する。)
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 総合健診の案内他
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	126
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 31

事業名	歯周疾患健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦
事業の目的	歯周疾患の予防、早期発見、治療
事業の概要	対象:町内に住所を有する妊婦及び当該年度末において40才、50才、60才、70才の者 期間:妊婦については通年、40、50、60、70歳は年度末まで 場所:県歯科医師会に加入している医療機関 内容:(1)問診、歯周疾患に関する自覚症状の有無 (2)歯周組織検査 現在歯、喪失歯の現状、歯肉の状況、口腔清掃状況 方法:妊婦へは母子手帳交付時、歯周疾患健診受診票を交付 40、50、60、70才には年度始めに対象者に個別通知 結果:受診した医療機関で結果の説明、指導
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 面接場面
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 32

事業名	歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	生活習慣病予防の一環とする、口腔機能の向上を目的とする。
事業の概要	対象者:20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80 歳 実施期間:6 月～7 月の 7 日間 場所:村内 6 ヶ所 内容:問診, 歯科健康診査, 事後指導
住民への周知方法	
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 33

事業名	成人歯科検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周病予防・早期発見・指導を目的とした成人に対する検診
事業の概要	・40から70才の節目の歯科検診(歯科医院個別委託) ・20才以上の成人集団検診(特定健診・各がん検診と同日実施)
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	48
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 34

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	口腔衛生の向上を図り、進行した歯周疾患を有する者の減少
事業の概要	・対象者:30才以上の住民 ・内容:問診、口腔内検査・結果判定・歯科保健指導(現在歯の状況・喪失歯の状況・歯周組織の状況・口腔内清掃状況等) ・委託先:歯科医師会 ・期間:10月1日から10月31日 ・料金:2,500円の内、個人負担金500円 ・周知方法:個別通知・サロン・保健カレンダー・町報・HP
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌 サロン・保健推進員
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	医療機関委託
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 35

事業名	成人歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	う歯及び歯周疾患の予防
事業の概要	実施方法 個別健診方式 対象者に通知 対象者 市に住民登録があり、現在歯科で継続的に治療を受けていない者で40才、45才、50才、55才、60才、65才、70才の節目の者 実施機関 歯科医師会の歯科医療機関(36ヶ所) 実施期間 8月から11月 内容 問診 サリバスター、健診(口腔内) 歯周(CPI) 結果説明 指導
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	市担当者 1
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 36

事業名	成人歯科検診とその事後相談
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周病の早期発見と予防
事業の概要	実施方法: 7月から8月 4回実施 実施内容: 歯科検診・歯周病検診・問診・歯科指導 スタッフ: 歯科医師・歯科衛生士・保健師・8020サポーター
住民への周知方法	ダイレクトメール 新聞 回覧板 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	7
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 37

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上) その他
対象者	その他
事業の目的	歯科疾患(歯周疾患、う蝕等)の予防、早期発見に努め、早期治療に資するとともに適切な保健指導を行い、健康で快適な生活ができるようにすることを目的とする。
事業の概要	・委託医療機関にて、個別で歯周疾患健診、ブラッシング指導歯肉出血の検査を実施 ・対象は20才以上の市民(妊婦、妊婦の夫20才未満可) ・6月から11月実施
住民への周知方法	回覧板 ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	不明
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 医療・介護・福祉施設 その他

歯周 38

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周病の早期発見・定期受診の定着
事業の概要	対象者: 20、25、30、35歳の方、40歳以上の方(町民) 方法: がん検診と共に受診票を対象者に個別発送、7から11月に歯科医に検診を受けていただく。結果はその場でご本人に渡していただく。
住民への周知方法	ダイレクトメール 回覧板 ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 健康教室の時
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 39

事業名	歯周疾患健康教育・歯科相談
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう歯の喪失を予防することを目的とする。
事業の概要	対象者：胃がん検診受診者（35歳以上） 実施場所：胃がん検診会場 内容：歯周病について町の歯周病に関する現状、ブラッシング、歯間ブラシの方法、歯科検診のすすめ
住民への周知方法	ラジオ 胃がん検診受診票郵送時にちらしを同封
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源（スタッフ延べ人数）	35
結果（成果）	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 40

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	節目の年齢をとらえて歯科検診及び歯科保健指導を実施し、高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるようにするとともに、歯の喪失を予防することを目的とする。
事業の概要	協力歯科医院において口腔内一般診査、補綴状況の診査、保健指導を行う。 平成24年度から自己負担金を無料化し、対象年齢に80歳を加えたうえ対象者全員に無料クーポン券を個別送付。
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 無料クーポン券による個別通知（24年度開始）
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源（スタッフ延べ人数）	不明
結果（成果）	受診者数の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 41

事業名	歯科節目健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周疾患等を予防・早期発見し8020(80歳で20本)を目指す
事業の概要	当該年に30歳、35歳、40歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の者に対し、歯科健診、歯科保健指導を実施。(30歳、35歳、45歳、55歳、65歳は市独自の事業)
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	歯科医師会委託
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 42

事業名	歯の健康推進事業
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯を失う原因である、むし歯、歯周疾患を予防するための知識技術を習得する
事業の概要	2歳児ピカピカ歯科健診時に希望する保護者へ歯の染め出しと歯磨指導を歯科衛生士が行なう。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 1歳6か月児健診時にちらし配布
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	10
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	なし

歯周 43

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	口腔清掃状況及び歯周組織の健康状態を検診し、歯の喪失の原因となるむし歯及び歯周疾患を予防する。
事業の概要	時期:6月から1月まで 対象者:20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳の者 実施場所:市内指定歯科医院 内容:問診、歯の健康度得点、歯周疾患検診(虫歯、歯石、歯肉、義歯等の状況確認)
住民への周知方法	ポスター 市区町村の広報誌 個人通知
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	162
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 44

事業名	歯周疾患検診(集団)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周病予防として歯間清掃グッズの普及
事業の概要	対象者:18歳以上の申込者及び生活習慣病予防健診受診者 実施内容:歯周疾患検診実施後、歯間清掃グッズの指導及び実践
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 検診申込書
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4 から 10
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 45

事業名	成人歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯科全般に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資する。
事業の概要	う蝕や歯周病予防の早期発見と歯科に関する知識の普及意識の向上によってう蝕の予防、歯の喪失予防を図ることを目的とする。 対象者30才から5才間隔 年に一回集団検診定員40名 集団歯科健康教育、歯科健診、個別歯科相談
住民への周知方法	回覧板 ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 個別通知
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	9
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師、歯科衛生士

歯周 46

事業名	節目歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯周病予防とう蝕予防を中心とする口腔衛生の向上に寄与する。
事業の概要	8020運動推進のため、定期歯科健診、かかりつけ歯科医の普及、定着、う蝕および歯周疾患の予防ならびに口腔セルフケア能力の向上を目指して歯科健診を各医療機関において実施
住民への周知方法	ダイレクトメール ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 47

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周疾患の発症・悪化の予防、適切な口腔管理の継続
事業の概要	対象者:40歳、50歳、日程:5月～12月、スタッフ:歯科医師、歯科衛生士、事務等、受診者負担金:500円、内容:問診、口腔内診査(現在歯・喪失歯・CPI)、検査結果の判定、検査結果の説明と保健指導
住民への周知方法	郵送
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 48

事業名	成人歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な20～60歳 健康高齢者 要介護高齢者
事業の目的	成人期の歯の喪失の原因である歯周疾患を予防、早期発見し、生涯自分の歯で摂食行動が取れることを通じて、住民が高齢期になっても、生活の質(QOL)を維持し豊かな日常生活を送ることができるようにするために実施する。また、健診結果に基づき適切な口腔に対する保健指導を行い、口腔衛生の向上を図ることを目的とする。
事業の概要	健診内容:①問診、②口腔内診査(現在歯、喪失歯、歯周組織の各状況、口腔清掃状態その他所見)、③健診結果の判定、④結果説明・保健指導 実施期間:毎年度6月1日から10月31日まで 対象者:職場等で健診受診機会のない、住民基本台帳、に記載された40才、50才、60才、70才 受診者負担金は500円で、生活保護世帯等、市民税非課税世帯は事前申請により無料
住民への周知方法	ダイレクトメール ラジオ ホームページ 市区町村の広報誌 チラシの入れたポケットティッシュ配布
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	不明
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 49

事業名	成人歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	生涯を通じた歯科保健の推進を図るため歯科疾患の予防と早期発見を行い、適切な指導を行うことにより市民の健康保持及び増進を図る。
事業の概要	対象者:30 歳以上の市民 健診方法:口腔内診査、CPITN 及び PMTC とし、健診受託機関に委託して実施する。 期間:通年 健診料:無料
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	有病率の減少
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 50

事業名	歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周疾患や、歯の喪失を予防し、健康保持増進を図ること
事業の概要	・40から50才、55、60、65、70、75、80才の市民が対象 ・歯科医師会協力医療機関へ委託 ・内容は、健康増進法に基づく歯科健康診査のと同様 ・少しずつ受診率が伸びてきており上記年齢対象外の市民にも、波及効果が見られるもの、と考えている。 (H22 1. 1 H23 7. 9受診率)
住民への周知方法	ダイレクトメール ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	把握不能
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 51

事業名	歯周疾患検診(個別)・歯周病チェック・歯科相談(集団)
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 その他
事業の目的	生涯健康で豊かな生活を送るために、歯の喪失原因の一つである歯周疾患を予防する。
事業の概要	集団では希望者や問診でこの1年に歯科健診を受診していない方を優先的に、歯科医師による、歯科相談、健診を実施している。 特定基本検診受診者、全員(希望者)に対して、CPIコードによる歯周病check、歯科相談を実施している(歯科衛生士が対応)。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	60
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 52

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯周疾患の予防
事業の概要	市民総合健診(集団健診)の際に歯科健診を希望者に実施40、50、60、70歳の方には歯周疾患検診としてCPI測定 歯科衛生士による歯科保健指導 歯科検診未実施日(集団健診において)、アンケートの結果に基づいて 歯科衛生士による個別指導を行っている。
住民への周知方法	回覧板 ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	32
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 53

事業名	成人歯科教室
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯周病等の早期発見及び歯牙の喪失予防、8020推進
事業の概要	対象:20 歳以上の市民、運動習慣づくり推進員 内容:歯科医師による講話、口腔内簡易検査(歯周病チェック等)、質疑応答等 実施期間:8 月から 3 月末まで、2 回/年 評価:参加者数、アンケート評価
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 チラシ
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	約 3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 54

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	30 歳以降に急増し、歯の喪失の最大原因である歯周疾患を早期発見・早期治療することが重要である。このような考えから、健康日本 21 で掲げられる指標をめざし、歯周組織の健康保持・増進を目的として検診を実施する。
事業の概要	30 歳以上の者を対象として、年 1 回行う。 各種がん検診時に実施する。 検診項目は、問診・現在歯と喪失歯の状況・歯周組織の状況等とし、ブラッシング指導等の事後指導も行う。 診査費は無料とする。 検診結果は、受診者に通知票で即通知する。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	12
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 55

事業名	歯周疾患検診（無料検診）
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯を失う最大の原因の歯周疾患の早期発見・早期治療
事業の概要	40・50・60・70歳の節目の人に、歯周疾患検診無料クーポンを送付。 県歯科医師会に委託契約（県が取りまとめ）しているので県内の歯科医院のほとんどで利用できる。 某町では、個別通知をしており、6～3月を実施期間としている。
住民への周知方法	個別通知
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源（スタッフ延べ人数）	2
結果（成果）	歯周疾患、う歯の早期発見、早期治療につながっている。
連携機関	歯科医師会

歯周 56

事業名	成人歯科検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	適切な保健行動がとれる意識づけと行動変容を図る。
事業の概要	・40から70歳の人に実施 ・口腔内診察とブラッシング指導 ・アンケート調査を1,000円で医療機関で受診 ・40、45、50、55、60歳の受診者には歯垢除去を無料で追加
住民への周知方法	回覧板 ホームページ 市区町村の広報誌 がん検診無料クーポン券に案内を同封
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源（スタッフ延べ人数）	1
結果（成果）	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 57

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯周疾患予防
事業の概要	住民健診(集団)の検診項目の1つとして実施。 歯科医師による検診, 歯科衛生士による相談, ブラッシング指導を実施。 対象は健診当日に住民登録がある18歳以上の方。 料金は200円。 日程は10日間。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	40
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 58

事業名	成人歯科健康診査
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯科保健の意識啓発および8020運動の推進を図る。
事業の概要	・対象者: 毎年4月1日現在で満40歳・50歳・60歳・65歳・70歳・75歳の全市民 ・実施期間: 7月から2月までの8か月間 ・実施場所: 市内の歯科医療機関 ・診査内容: 問診・診察 ・口腔保健指導
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 受診券の個別郵送
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	医療機関委託
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 市内歯科医療機関

歯周 59

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周疾患の早期発見と予防
事業の概要	年6回、特定健診等と同時開催 定員15人／回 市内、歯科医師へ協力依頼 歯科相談も同時開催、口腔ケアについて指導
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 60

事業名	歯周病チェック
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯周病予防
事業の概要	・がん検診、特定健診会場にて、DHIによる、歯周病チェックを行う。
住民への周知方法	回覧板 市区町村の広報誌 各戸配布
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

歯周 61

事業名	成人歯科保健教室
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	働く世代を中心に歯の健康について正しい知識普及のため
事業の概要	歯の健康について正しい知識を普及し、健康意識向上及び生活習慣の改善を促す機会として事業所等に出向き、歯科医師による講話、ペリオスクリーン、歯科衛生士によるブラッシング指導を行っている。
住民への周知方法	テレビ 市区町村の広報誌 フリーペーパー
実施の方法	その他
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	32
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 62

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯の喪失の主な原因であるむし歯や歯周病を予防し、生涯を通じた歯の健康づくり及び、8020運動の普及啓発を図る。
事業の概要	(対象)40歳以上の特定健診受診者(特に節目) (実施)総合健診の診察の待合時 (内容) 問診:歯周疾患に関連する自覚症状の有無 (歯周組織検査) ペリオスクリーン-唾液潜血検査による歯周疾患の検査 RDテスト-口の中のむし歯菌の数を指示薬の色の変化で見る検査 (歯科相談)検査結果の説明・歯みがき指導
住民への周知方法	回覧板 ポスター 市区町村の広報誌 特定健診時に勧誘
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	25
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

歯周 63

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	生活習慣病対策の一環として、高齢期における健康の維持と歯の喪失を予防する。
事業の概要	当該年度において40才に達する者に対し 無料クーポン券を送付 個別(医療機関)にて実施するものとする。
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会

歯周 64

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	成人期からの歯周疾患を予防: 検診の実施にて、成人期・高齢期における口腔保健状態の確保と日常生活のQOLの向上につなげる。
事業の概要	・実施主体: 町、協力機関: 町内の歯科医院 ・検診内容: 問診、歯周組織検査、結果説明 ・対象者: 町内に住所を有する者で、当該年度に40、50、60、70歳の節目年齢を迎える者 ・自己負担金: 500円 ・実施期間: H24. 6. 1からH24. 10. 31
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	受診率の向上
連携機関	歯科医師会

歯周 65

事業名	歯周疾患検診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周疾患の早期発見、高齢期における口腔内の健康を維持し、食べる楽しみを享受できる、歯の喪失防止
事業の概要	実施期間 9月1日から11月30日まで * 各歯科医療機関の診療時間内とする。 実施場所 各協力歯科医院 対象者 40, 50, 60, 70歳到達者(節目年齢) 内容 歯周疾患検診 ①問診 ②口腔内診査(現在歯・喪失歯・処置歯等の状況) ③歯周組織検査(歯周ポケット測定<CPI法>) ④診査結果説明(「異常なし」・「要指導」・「要精検」に区分する) ⑤歯科保健指導(「要指導者」問診の結果から歯磨きの方法等、特に改善を必要とする日常生活について指導する。) 「要精検者」医療機関において精密検査をするよう指導する。
住民への周知方法	個別通知、町内放送、特定健診結果報告会で対象者へ受診のすすめ
実施の方法	単独で実施
財源	その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

● 介護予防に関連する事業（81 事業）

介護 1

事業名	介護予防事業 口腔ケア「お口の元気アップ講座」
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能が低下している状態を早期に発見・改善し、自分らしい生活の確立を支援するとともに、口腔の手入れ方法の習得により、自らが在宅において正常な口腔環境の維持・管理を行えるように支援することを目的とする。
事業の概要	自身の口腔状態を把握し、口腔ケアの重要性を理解しながら、口腔機能向上へ向けたケアの実践(口腔清掃、摂食・嚥下に関する機能訓練等)を歯科衛生士の指導のもと体験する。 定員:30 名
住民への周知方法	新聞 ホームページ
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	包括支援センター

介護 2

事業名	地域支援事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	介護予防の推進
事業の概要	1、1次予防事業として、市内老人クラブ等に参加する地域の高齢者を対象に健康教育を実施。栄養改善事業をして、高齢期の健康づくりに必要な「食」に関する支援(管理栄養士)や、誤嚥や肺炎を予防することを目的とした口腔ケアや体操の普及を行っている(歯科衛生士) 2、2次予防事業として、口腔機能向上に関する個別支援を通所により実施。
住民への周知方法	老人クラブを通した周知
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	庁内関係部署

介護 3

事業名	介護予防(口腔機能向上)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	口腔機能向上で誤えん性肺炎を予防する、口腔内を清潔に保ち元気な生活を送れる
事業の概要	一般高齢者(1次予防) 運動か特定高齢者に該当し、介護予防教室に参加している者に3ヶ月間に3回(月1回)口腔機能についての講話をする。 特定高齢者(2次予防) 口腔機能が特定高齢者に該当したものに対して3ヶ月間に6回、口腔ケア、口腔機能向上について実技、講話をする。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 集団検診時にPR
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3 から 4
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	地域包括支援センター

介護 4

事業名	老人クラブ口腔ケア教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者への健康増進と健康寿命の延伸を目指した介護予防対策
事業の概要	1、老人クラブ健康相談員に同伴し老人クラブの例会時に実施 2、参加者の口腔観察により、残存歯、義歯装着、口腔管理等を確認し、参加者に状況報告する。 3、健康講話の開催(約30分程度の内容)
住民への周知方法	老人クラブ会長に文書配布
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

介護 5

事業名	口腔機能向上事業
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔ケアにより食べる、話す、表情を豊かにする等、口腔機能の維持・向上を図り、健康寿命延伸と QOL(生活の質)向上を目指す。
事業の概要	対象者: 特定高齢者で口腔機能が低下しているおそれがある、またはそれらに準ずる人 定員: 15 名 スタッフ: 言語聴覚士、歯科衛生士、保健師、ボランティア、保健推進員 場所: 保健福祉センター 内容: 講話、口腔清掃の支援と実技、摂食・嚥下機能訓練の支援と実技、レクリエーション(口腔機能訓練や脳の活性化を図るゲーム)、セルフケアプログラム(作成・確認・モニタリング・事後アセスメント) 年 2 回フォロー日をもうける。 評価: 特定高齢者施策評価事業による。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 保健師による訪問、電話
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1 回に 6 人
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	

介護 6

事業名	介護予防事業(一次予防施策) はつらつ教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	口腔機能の維持、向上の指導により、健康管理の継続、身体機能の低下予防を図る
事業の概要	・介護予防(一次予防施策)のプログラムの1つとして実施 健康相談 口腔体操(健口体操) ストレッチ、筋力強化運動の流れで実施。健口体操は包括支援センターのスタッフ等が担当している。 ※自宅での実施継続のため資料配布。 ・健口体操の実施: 開始前に口腔機能維持の大切さ、予防 ・参加者全員で歌った後、体操を実施。
住民への周知方法	ポスター 市区町村の広報誌 町内会、老人クラブを通じて
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

介護 7

事業名	通所・訪問型介護予防事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	①口腔機能の低下を予防し、おいしく食べる。楽しく話せるようになる。 ②口腔の状態を理解し口腔のお手入れを学べる。
事業の概要	・訪問型:チェックリストにて二次予防高齢者に対し、言語聴覚士による訪問を行い、嚥下機能や口腔内ケアの指導を行う。 ・通所型:介護予防教室において、口腔内ケアの指導を行う。(お手入れ方法や嚥下体操など)
住民への周知方法	市区町村の広報誌 ケアマネージャー会議、TELにて個別勧奨
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	6
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	

介護 8

事業名	介護予防講習会
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	介護予防(口腔機能の向上)
事業の概要	口腔内のセルフチェック 唾液が出る仕組みについて 唾液腺マッサージ 口腔マッサージ(誤嚥予防) 咀嚼の方法、大切さについて 口腔ケアの方法 健口体操
住民への周知方法	回覧板 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 9

事業名	ひまわりクラブ
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	介護予防事業の一つとして高齢者の口腔機能向上を目的に実施している。
事業の概要	・町内3ヶ所にて実施。 ・歯科衛生士による講話を中心に行っている(今年度は、唾液の大切さに重点を置き、パンを実食することによって体験も含め行った。)
住民への周知方法	個人通知
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2 から 3
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	特になし

介護 10

事業名	歯つらつ教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	口腔機能向上の支援
事業の概要	①対象者:65歳以上の1次予防事業対象者及び2次予防事業対象者 ②事業実施回数:月2回(年間24回) ③参加者数:男3名、女11名 ④職員従事:歯科衛生士1名、栄養士1名、在宅歯科衛生士1名 ⑤実施内容:ミニ学習会、歯磨き教室、健口体操、発音練習、早口ことば、調理実習、絵手紙教室、バスレクなど。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 その他基本チェックリスト
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	51
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	医療・介護・福祉施設

介護 11

事業名	健口クラブ(口腔機能向上教室)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	口腔機能の改善、向上により高齢者の自立した生活の確保を目指す。
事業の概要	国の「口腔機能の向上」事業実施マニュアルに基づき実施①実施回数2クール(1クール6回) ②参加人数(実)26名 ③内容 口腔機能訓練 歯科保健指導 口腔清掃指導 自宅でのセルフケアプログラム(嚥下体操、口腔ケアの方法等) ④スタッフ 保健師(高齢者福祉課)歯科衛生士(時給賃金)
住民への周知方法	生活機能評価結果で選定した人へ案内
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	60
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	なし

介護 12

事業名	いきいき健口教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	口腔機能向上のため
事業の概要	厚生労働省の「口腔機能向上マニュアル」を基に、口腔機能が低下しているおそれがある要介護状態に陥らないよう、口腔機能が低下している状態を早期発見し、自分らしい生活の確立と自己実現を支援するもの。 ①プログラム前後のアンケート ②口腔体操・唾液腺マッサージ ③専門的評価(咬合力、反復唾液等テスト) ④歯磨き実習 ⑤口腔機能の説明等 の内容で、全6回が、1コースとなっている。
住民への周知方法	対象者に個別に連絡
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	51
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	保健所

介護 13

事業名	介護予防事業
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者の口腔機能向上
事業の概要	二次、一次予防対象者に対して、集団、個別指導を行う。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 個別通知
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 14

事業名	通所型介護予防事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	要介護・要支援状態となる可能性の高いと考えられる高齢者に対し、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上等のプログラムを実施することにより、一人一人が生きがいを持ち地域で自立した生活を送ることができるよう支援する。また日常生活における介護予防の取り組みの継続、定着を支援することを目的とする。
事業の概要	対象者：二次予防事業対象者 実施内容： ①事前アセスメント ②個別目標の設定 ③プログラムの実施 ④事後アセスメントの実施 評価： ①主観的健康感の維持・改善の割合 ②基本チェックリストの維持・改善の割合 実施担当者：歯科医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士等
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	58
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 医療・介護・福祉施設

介護 15

事業名	元気高齢者出前健口講座
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能向上を目指し、よく噛んで食べて、笑って楽しい健口生活が出来る市民を増やすことを目的とする。
事業の概要	・市内の老人クラブ、サロン等へ出向き、歯科医師講話、歯科衛生士による実技指導を行う。 ・参加費無料
住民への周知方法	その他老人クラブ、サロン代表者への通知
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

介護 16

事業名	介護予防事業としての口腔機能向上教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	介護予防
事業の概要	歯科衛生士による歯みがきや義歯の手入れの指導や「お口の健康」についての講話、健口体操や唾液腺マッサージ等を6回コース(月1回ペース)で実施 介護予防事業の一環として実施したことより栄養改善についても集団指導しており“おいしく食事をするために”をテーマに組み入れている
住民への周知方法	市区町村の広報誌 市民対象の健康診断
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	24
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 17

事業名	いきいきシニアの健口教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	介護予防
事業の概要	地域支援事業の要綱に基づき実施。 二次予防事業対象者把握事業で対象となった方に対し、教室への参加を募り、1コース4回の講座を実施。
住民への周知方法	その他対象者に通知、訪問。
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	17
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

介護 18

事業名	地区巡回介護予防講座
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者の口腔機能向上についての正しい知識を普及することにより、介護予防の方法を習得する
事業の概要	地域の会館単位で健康相談会との同時実施188ヶ所で実施 内容 ① 保健師による健康講話(パンフレット) ② 口腔機能向上体操の実施 時間 1時間30分 ※実施前に、保健師のスキルアップのため、歯科衛生士による講習会を開催した。
住民への周知方法	回覧板 健康づくり推進員による周知
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	199
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会 地域包括支援センター

介護 19

事業名	お口若がり講座
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	介護予防を目的とした口腔機能向上事業を提供することにより、要介護状態になることを予防し、又は心身状態の悪化を防止し、在宅で自立した生活が維持できるようにする。
事業の概要	対象者:市内在住の65歳以上の者及びその支援のための活動に関わる者 実施場所:保健センター・公民館・老人福祉センター等 内容:専門スタッフによる健康教育(講話、実技)(歯科医師、歯科衛生士)、虫歯予防・歯周病予防・誤嚥性肺炎予防・入れ歯の取扱い、口腔乾燥症について等をテーマにした講話、スポーツ吹き矢体験等 年間27回実施 ※歯科医師会に委託
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	98
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 20

事業名	歯つらつ健口教室.
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能向上
事業の概要	3ヶ月1クール、3グループに分けて実施 時間:午後1時30分～3時 場所:保健センター 1回目:事前アセスメント, 目標の設定, 顔写真撮影, 参加者自己紹介, 健口体操, 早口ことば, はっきり読みトレーニング 2回目:歯科衛生士講話, ブラッシング指導, フロス・歯間ブラシ指導, 個別相談, 健口体操, パタカラ, 早口ことば, はっきり読みトレーニング 3回目:位相差顕微鏡での口腔内細菌の観察, 口腔内清掃の仕方について, 健口体操, パタカラ, 早口ことば, はっきり読みトレーニング 4回目:歯科医師講話, 口腔内チェック, 目標の中間確認, 個別相談, 健口体操 5回目:歯科衛生士講話, 実習(姿勢・食べ方等の確認), 健口体操 6回目:事後アセスメント, 顔写真撮影, 目標達成度の確認, 今後の目標設定, 健口体操 教室終了後、次年度にフォローアップとして2回、同対象者を誘い教室を実施。
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	40
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

介護 21

事業名	介護予防事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能低下を予防し、要介護状態に移行させないこと
事業の概要	歯科衛生士による講話「口腔ケアの実践」お口の体操、マッサージ、ブラッシング、義歯の手入れなど
住民への周知方法	回覧板
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	6
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 22

事業名	歯° つくんげんき食教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の維持向上、低栄養予防のための食生活について、学習や実技を通して要介護状態に陥ることを防ぎ、高齢者の生活機能の維持、向上を図ることを目的とする。
事業の概要	・対象 以下の1と2のうち65～74歳未満の高齢者 1、「栄養改善」対象者：H23年度生活機能アンケートより、①チェックリスト(11)「6ヶ月間で、2から3kg以上の体重減少がありましたか」に該当 ②BMI18.5未満(BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)) 2、「口腔機能」対象者：H23年度生活機能アンケートより、以下のうち2項目該当者。①半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか ②お薬や汁物等でむせることがありますか ③口の渇きが気になりますか。 ・6回コース(3ヶ月内)＋フォローアップ(1回) ・歯科衛生士、言語聴覚士、栄養士、保健師が従事 ①血液検査、身体測定、口腔アセスメント(教室の前後) ②口腔機能の講話・ケアの実技 ③栄養講話・調理実習など
住民への周知方法	ダイレクトメール 電話、必要時個別訪問
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	のべ 85
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会 医療・介護・福祉施設

介護 23

事業名	わあ歯歯教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	介護予防(口腔機能向上)
事業の概要	地域支援事業の介護予防事業として、実施した。 ＜内容＞ 第1回目 口腔衛生についての講話 口腔内の観察・問診 口腔清掃の仕方 口腔機能訓練 まとめ 第2回目 口腔内の観察・評価 口腔機能訓練 まとめ
住民への周知方法	回覧板
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	医療・介護・福祉施設

介護 24

事業名	口腔改善教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔内の機能の改善を図り、低栄養の防止、誤飲性肺炎の防止を行う
事業の概要	基本チェックリスト等で対象者を抽出し、6日の講座を実施。 講座の前後では、歯科衛生士による口腔機能及び口腔内の衛生状況をアセスメントし、対象者に必要な講義を行う。
住民への周知方法	ダイレクトメール ラジオ ポスター 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	55
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	その他

介護 25

事業名	健口教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	二次予防事業対象者の介護予防を目的とする。
事業の概要	栄養改善と複合型介護予防事業として実施 ・対象 二次予防事業対象者20名(介護に陥る危険のある者) ・指導者 歯科衛生士 ・実施回数 3回(平成23年度 平成24年2月6日、2月20日、3月5日に実施) ・内容 講義 テキスト(パンフレット)を使用しての口腔の手入れ法など、実技、歯磨き方法、口腔体操 嚥下、咀嚼力テストなど
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 26

事業名	老人クラブ健口教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の向上、歯の健康への関心を高める。
事業の概要	歯科衛生士を講師とした健康教室 口腔機能の向上、口腔内保清の大切さについて周知し、口や舌をうごかす体操や口を使ったリクリエーションを行ったり、舌ブラシなど口腔内清掃補助具の使い方の実践を行う。 高齢者を対象としており視覚的にわかりやすい媒体の利用や身体、頭を使う体操なども一緒にもりこむなど工夫をしている。
住民への周知方法	回覧板
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 27

事業名	介護予防セミナー
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の低下予防
事業の概要	・口腔機能の役割についての知識の普及 ・口腔機能低下予防及び向上のための健康体操の普及 ・咀嚼力チェック ・歯みがき指導 ・個別相談
住民への周知方法	市区町村の広報誌 チラシ、個別通知
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	385 うち歯科衛生士 83 名
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 28

事業名	いきいき体操教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に関する知識を習得する。
事業の概要	概ね月1回介護予防の体操を中心とした内容で実施している。 その中で年に1回、歯科衛生士による口腔講話、個別相談を実施している。 健診結果説明会において来所者にブラッシング指導を行っている。
住民への周知方法	その他
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	17
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 29

事業名	お達者教室(健口編)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能向上を図ることにより、高齢者が活力ある健康生活を送れるようにする。
事業の概要	・低栄養の予防も含め、栄養編も抱き合わせで実施している。 ・食べる楽しみ、会話の楽しみを得で、健康な社会生活を送れるように、口腔ケア誤嚥性肺炎の予防等の取り組みをする。 全6回コースで、歯科衛生士、保健師、管理栄養士が従事スタッフ。
住民への周知方法	ダイレクトメール 町民祭でPR
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	15
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 表情が明るくなり、食べる楽しみが増えた
連携機関	歯科衛生士会 それ以前は、介護施設

介護 30

事業名	ピンシャン！元気塾
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	二次予防事業対象者への口腔機能向上を含めた全体の介護予防
事業の概要	介護予防のための大切な3つの柱「運動・食事・お口の健康」について、専門職員と学ぶ総合プログラム 3ヶ月間12回を1コースとして、直営・委託含め市内12会場で実施
住民への周知方法	二次予防事業対象者へ通知
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	60
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	地域包括支援センター

介護 31

事業名	口腔機能向上教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	口腔機能の低下がみられる高齢者の口腔機能の向上を図り、要支援・要介護状態となることを予防する。
事業の概要	生活機能評価を受診した結果、口腔機能の低下がみられる高齢者を対象に、そしゃくや飲みこみの機能を保つ方法の講義や実習を行う。
住民への周知方法	ポスター ホームページ 地域包括支援センターが対象者宅を訪問
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	約 11
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 32

事業名	二次予防教室.お口の健康教室.
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者が元気なうちから生活機能低下に気づき、早めに介護予防に取り組むこと
事業の概要	基本チェックリストにより、口腔機能低下が判明した人(チェックリストの口腔内状態に関する質問に2つ以上該当する者)、又は口腔機能が低下しているおそれがあると判断した人を対象とし、地域包括支援センターが窓口となり、市民へ教室案内とする。 教室回数は1クール6回を年4回、同時に8会場で実施している。 内容は以下の3点を主眼とし、委託事業者により、介護予防への働きかけを行なっている。 ①口腔機能向上の必要性についての教育 ②口腔清掃の自立支援 ③摂食・嚥下機能等の向上支援
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	768
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 地域包括支援センター

介護 33

事業名	はつらつ教室脳デカラ噛む力アップコース
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	噛む力とあわせて認知力の維持向上
事業の概要	1 コース 13 回 講師: 歯科医師, 作業療法士, 歯科衛生士 講義: よく噛むことでもたらされる健康効果, パワーリハビリの効果, 口の健康と介護予防, など 実技: マシーントレーニングの実際, パワーリハビリ, はつらつ体操, など 評価: 口腔機能, 身体機能, 認知機能, など
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	38
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 34

事業名	お口の元気アップ講座(通所型介護予防事業)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	口腔機能低下を早期に改善し、生活機能の向上、生活意欲の向上を図る。
事業の概要	・対象者…二次予防事業対象者のうち、基本チェックリスト(NO13から15)で2項目以上該当する者 ・回数…3回×3クール ・スタッフ…歯科衛生士、保健師、理学療法士 ・内容…口腔機能の検査、歯科衛生士による個別の口腔チェック、健康教育、理学療法士による元気体操の紹介
住民への周知方法	対象者へ通知
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	13
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	

介護 35

事業名	介護予防事業.一次.
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の維持、向上(知識の数)
事業の概要	①通所型事業…月に1から2回の集団教育 ②出前講座…市内団体へ出張講座 ③ボランティア育成…自主グループ支援
住民への周知方法	ダイレクトメール ポスター 市区町村の広報誌 ちらし
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	66
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	地域包括支援センター

介護 36

事業名	歯つらつ教室(通所型口腔科能向上事業)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	口腔機能の低下した二次予防高齢者の口腔機能の向上をはかる。
事業の概要	生活機能評価にて、口腔機能の低下が認められた高齢者のうちの希望者を対象とし、週1回計4回の教室を実施した。 スタッフ(のべ)歯科衛生士27人 保健師19人 事務4人
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	50
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 口腔機能の改善
連携機関	歯科医師会

介護 37

事業名	いきいき教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	介護予防
事業の概要	1コース6回で2コース実施。 65才以上で口腔機能の低下が疑われる町民を対象に、歯科診察、口腔機能テスト、ミニ講座、健口体操を実施し、口腔機能の維持向上を図った。
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	64
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 口腔機能の向上、歯科の受診増加
連携機関	歯科医師会

介護 38

事業名	口腔機能向上教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	介護予防を目的として、食べる・飲みこむ・話すなどの口腔機能の維持・向上を図る
事業の概要	口腔機能向上教室(1次予防、直営事業) 65歳以上の高齢者を対象に誤嚥性肺炎の予防として、歯科衛生士による講話、口腔機能の測定、歯科医師による口腔観察を行い、自身の口腔状況を認識させる。 合わせて、舌清掃法の紹介、食べる・飲み込む・話すための口腔筋力向上を目的とした、舌・顔面体操ならびに唾液腺マッサージ・発生トレーニングを実習として行う。
住民への周知方法	テレビ 回覧板 ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 チラシ
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	66
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 医療・介護・福祉施設

介護 39

事業名	介護予防事業(二次予防)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者を対象に、誤嚥性肺炎の予防、口腔機能の維持・向上のための講座を実施し、介護予防の普及啓発を行う。
事業の概要	①要介護状態となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65才以上の高齢者(以下「特定高齢者」)に対する訪問型の介護予防事業 ②「特定高齢者」に対する通所型介護予防事業 ③介護予防に関する普及啓発事業(一般高齢者施策) <実績> ②特定高齢者 1クール6日制 14クール実施 実人員106人、延582人 ③一般高齢者 26回 343人
住民への周知方法	長寿健診と通知による勧奨
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	504
結果(成果)	健康行動実践者の増加 口腔機能の向上
連携機関	包括支援センター

介護 40

事業名	歯つらつ健康教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	口腔機能、口腔衛生の維持と向上
事業の概要	食べることの意義や口腔の機能についての講義をはじめ、歯みがき指導、歯つらつ体操、唾液腺マッサージを歯科医師、歯科衛生士が行う。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 友人、仲間づくり
連携機関	歯科医師会

介護 41

事業名	介護予防事業(口腔機能向上)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	介護予防
事業の概要	ポピュレーションで行っているもの(転倒予防・低栄養・筋トレ)では1から2回の口腔についての話 健口エクササイズ 8回コース 年3回口腔についての話、とアセスメントと刷掃指導
住民への周知方法	ラジオ ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 FM、ちらし
実施の方法	
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	80
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 医療・介護・福祉施設

介護 42

事業名	介護予防講演会
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	介護予防としての普及啓発
事業の概要	・高齢者の口腔衛生と栄養改善についての講義 ・栄養改善のための食事の減食
住民への周知方法	回覧板 ポスター 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県
人的資源(スタッフ延べ人数)	12
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	医療・介護・福祉施設

介護 43

事業名	健口歯つらつ教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の維持、改善のため
事業の概要	対象者: 二次予防事業対象者 内容: 介護予防を目的とした「栄養改善プログラム」「口腔機能向上」を組合せ、集团的・通所形態により実施する。 全 6 回で講話と実技(口腔清掃指導, 健口体操)や調理実習などを行う。 対象予定数: 約 10 名 参加無料 送迎あり
住民への周知方法	市区町村の広報誌 電話、個別訪問
実施の方法	
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 44

事業名	ふれあいサロン
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者の口腔機能向上
事業の概要	町内各地区の公民館、集会所に住民が集まり、その中で事業を実施。 日時等は各地区代表が担当者に電話等で連絡調整し決定。
住民への周知方法	回覧板 区長、民生委員などによる声かけ
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	その他

介護 45

事業名	むせ予防教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の低下防止と全身の健康の保持増進を目的とする。
事業の概要	・対象、65歳以上の人 ・実施場所、保健センター ・内容 - 歯科検診 - 健口体操 - 口腔ケア - 口腔機能や全身の健康についての知識の伝達
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	18
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 むせの減少、唾液の増加等
連携機関	歯科医師会

介護 46

事業名	地区巡回講習会
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	要介護状態の予防のために「食」と「口腔」から健康について考え、日常生活で実践できる知識や技術を身につける機会とする。
事業の概要	対象:中高齢者とその家族 期間:10月～2月 場所:公民館など 内容: ・中高齢者の骨粗しょう症予防の食事について ・口腔の話とブラッシングの仕方について ・血圧測定と健康管理について 費用:400円
住民への周知方法	回覧板 各地区にいる保健委員さんからの声かけ
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	その他在宅歯科衛生士

介護 47

事業名	おいしく歯歯歯教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	「口腔機能の低下」状態にある特定高齢者に対し、口腔機能の改善を図ることを支援する。
事業の概要	・事前・事後アセスメント ・個別サービス計画票の作成および受講者へ説明 ・口腔機能の向上に関する集団教育の実施 ・自宅でも継続して行えるような口腔清掃、咀嚼・嚥下機能訓練指導 ・基本チェックリストの実施(教室前後)
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	78
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 地域包括支援センター

介護 48

事業名	いきいき健康塾
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の向上のための知識、技術を身につけ、自立した生活を送る。
事業の概要	高齢者の生活機能向上を目的とした介護予防教室として、運動栄養・口腔・をテーマに実施している。 毎週木曜日、全 13 回 場所: ふれあいセンター 参加費: 無料 送迎無料 定員: 25 名
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	その他
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 49

事業名	介護予防事業「シルバー キッチン 歯っぴー教室」
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	介護予防
事業の概要	対象者:生活機能評価健診で参加が望ましいとされた人で、事業参加によって効果が規定できる人、65歳以上の人、要介護・要支援認定を受けていない人 スタッフ:管理栄養士、歯科衛生士、保健師、食生活改善協議会 実施回数:年間12回 定員:20名程度 内容:対象者アセスメント、講義(栄養・口腔)と調理実習、評価 場所:保健センター 栄養指導室、調理室 受講費:年間2,400円(材料費等)
住民への周知方法	市区町村の広報誌 口コミ
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	6
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

介護 50

事業名	口腔機能向上のための知って納得.スマイル講座.
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	口腔機能向上し、健康寿命の延伸を図る。
事業の概要	高齢者が、おいしく、楽しく、安全な食生活を営むために、食べる機能の維持、誤嚥性肺炎の予防、表情や発音を豊かにする方法、音楽に親しみながら、学ぶ口の機能、口から始まるアンチエイジング法などを学ぶ講演会 3回1コース 講師は、健康運動指導士、音楽療法士、アンチエイジング歯科学会理事等 3会場にて実施(各区1コースずつ) 口腔機能向上のための体操を学ぶ。
住民への周知方法	回覧板 ホームページ
実施の方法	単独で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	18
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

介護 51

事業名	健口教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	加齢に伴う運動機能、口腔機能の低下を防止することにより、生涯を通じて心身ともに、充実した生活が送れるよう支援する。
事業の概要	対象者:基本チェックリスト 13 から 15 のうち 2 項目に該当する人 全 9 回, 各 2 時間 運動機能と口腔機能を高めるメニューの両方を含む。 口腔機能に関しては, 講義と口腔体操がある。 評価(本人):口腔内清潔度, 口腔機能テスト(ぱたかテスト, 反復唾液テスト), 体力テスト 評価(教室):本人の満足度・日常生活における変化, 目標達成度
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 その他
連携機関	

介護 52

事業名	最期まで口から食べる幸せ感じよう ～おいしい！プロジェクト～
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	地元の食べ慣れたものを最期まで口から食べて幸せに逝く。
事業の概要	市立総合病院の言語聴員士、社会福祉士、歯科衛生士を中心に、民間施設の歯科衛生士、食品会社(特に介護食材を扱っている)の管理栄養士、市の保健師らがチームになりえん下障害の予防と口腔機能向上のために出前講座等の活動を行っている。 官民協働。 海洋深層水を使ったなめらかな豆腐の開発やさしいえん下食品の作り方講座の開催。自治体総合フェア2012「第4回活力推進団体表彰」「優秀賞」官民協働。
住民への周知方法	ホームページ
実施の方法	単独で実施
財源	その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	10 から 12
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 医療・介護・福祉施設

介護 53

事業名	口腔機能向上教室(通所型二次)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者が口腔機能、口腔衛生状態を維持、向上するための知識、技術を習得し、いつまでも自分の口で食事を摂れるよう支援する。
事業の概要	高齢期は、口腔内の衛生状態の悪化や摂食機能の低下をおこやすく、栄養状態が悪化し要介護状態に陥ることがある。しかし、高齢者の多くは、口への関心が低く、機能低下が寝たきりや死亡の原因になることを認識していないため、口腔の手入れの必要性を感じていない。したがって、いくつになつても口からおいしく楽しく食事を食べるために必要な、口腔衛生(口腔内の清掃)及び口腔機能向上の知識及び技術の指導・支援を提供する。なお、日常生活において生活機能の低下に関与が深いと思われるプログラム(認知・運動・栄養)も併せて提供することで、生活全般の自立を促す。
住民への周知方法	TEL、個人通知、健康相談会でお誘い
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	40
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 医療・介護・福祉施設

介護 54

事業名	口腔機能向上のプログラム「にこにこ元気(健口)教室」
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	高齢者の口腔機能向上をはかる。
事業の概要	対象 ①基本チェックリストにおいて「口腔機能向上」関連の(13)(14)(15)の3項目中2項目以上該当する者、②視診により口腔内の衛生状態に問題を確認、③反復唾液嚥下テストが3回未満の者 内容 ①口腔機能向上の必要性についての教育、②口腔清掃の自立支援、③摂食・嚥下機能等の向上支援
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	33
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 55

事業名	高齢者の口腔機能向上支援事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	歯科専門職による専門的観点から比較的簡単にできる訓練や体操を指導して高齢者の健康の保持増進を図る。
事業の概要	内容: ①歯科医師の健康講話「口腔機能向上について」 ②歯科衛生士の口腔機能向上訓練・体操等の実技指導 ・咀嚼力判定:判定ガムによる測定(自己判定) ・顔面体操:歯つらつ体操 ・発声訓練:早口ことば ・唾液腺マッサージ・舌体操:実技指導 ・飲みこみテスト:実技指導・自己判定
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 56

事業名	口腔機能向上事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	二次予防事業対象者の口腔機能向上
事業の概要	全7回 介護予防ケアプランに基づき実施。 内容 ・事業事後にアセスメント ・口腔体操、唾液腺マッサージ、レクリエーション・講話(誤嚥性肺炎、歯周病口腔機能等) ・宿題あり
住民への周知方法	地域包括支援センター
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 57

事業名	お口から元気教室(口腔機能向上教室)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	誤嚥や窒息を予防し、口腔衛生の自立や清潔を促すことで誤嚥性肺炎や不慮の事故を未然に防ぐ。
事業の概要	・お口の働きチェック ・ミニ講座「お口の働き」、「飲み込みの仕組み」、「お口の清潔」、「体の病気と歯周病」、「お口の渇き」 ・レクリエーション ・のみこみ体操、お口の体操、ブラッシング指導、唾液腺マッサージ
住民への周知方法	市区町村の広報誌 特定健診の基本チェックリスト参照
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 H24より会場を2か所に増設、参加者増加。
連携機関	

介護 58

事業名	介護予防事業 2次予防事業(栄養改善、口腔機能向上)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	栄養改善、口腔機能の向上することで介護状態となることを予防する。
事業の概要	対象者: 特定高齢者のうち低栄養状態の恐れがある者、または口腔機能低下の恐れのある者 内容: 栄養改善プログラムと口腔機能向上プログラムを組み合わせ実施 実施期間と回数: 1 クールを 3 か月とし、月 2 回、計 6 回 定員: 1 クール 20 人以内 場所: 市民会館 本人負担: 無料
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	24
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 主観的健康感の改善
連携機関	大学 大学より歯科衛生士に依頼、音楽療法の講師

介護 59

事業名	いきいき健口教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔ケアの大切さを理解することにより口腔機能改善または、維持させ、介護予防事業につなげる。
事業の概要	「前期」 ・咀嚼力判定ガムを使用しチェックする。 ・アンケート ・健口体操 ・健康教育 「後期」 ・咀嚼力判定ガムとアンケートの結果説明 ・健康教育
住民への周知方法	老人クラブ会長に依頼、例会に合わせ実施
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	39
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

介護 60

事業名	お達者教室
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	介護予防
事業の概要	小学校区に1ヶ所ずつ、ディサービスをボランティアが運営。 対象は自力でディサービスに行ける人。 週2日10時から15時位までディサービスで過ごす。 (入浴サービスはなし、昼食有) 保健師が定期的にディサービスを訪問し、血圧測定を含む健康相談や健康教育を実施(全部で1時間程度)。 健康教育の1コマで歯科衛生士による口腔機能の維持、向上について、話をし、参加者も口腔の体操等参加をする。 実際に昼食前にだ液腺のマッサージを取り入れていただいたりした。
住民への周知方法	ディサービスに予定表を配布し、日程調整をして当日うかがう
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	12
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	包括支援センター

介護 61

事業名	介護予防事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	一般高齢者への介護予防(口腔機能)に関する知識の普及・啓発
事業の概要	場所: 公民館、保健センター 対象: 65 歳以上一般高齢者(1 会場に 30 名程度) 回数: 6 月より年間 6 回程度 内容: 介護予防について(保健師) おいしく食べるための口腔機能の向上と口腔衛生の自立支援のための指導(歯科医師・歯科衛生士) 時間: 90 分
住民への周知方法	回覧板 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 62

事業名	介護予防事業「悠ゆう塾」
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の維持、向上
事業の概要	週1回4ヶ月を1クールとし運動メニューを中心に実施している教室で毎回必ずお口の体操を実施、舌を動かす体操やほおをふくらませたり、へこませたりする体操、「パ、タ、カ、ラ」のことばをくり返す練習などを取り入れている。
住民への周知方法	TELや手紙で対象者に周知
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 63

事業名	口腔機能向上事業「笑っは歯教室」
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口の健康の保持・増進
事業の概要	・個別相談 ・集団指導 正しい歯磨き H24から総合型介護予防事業を実施中(運動+口腔+栄養)
住民への周知方法	市区町村の広報誌 電話など直接のお誘い
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	25
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 64

事業名	お口の健康教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	口腔機能の維持向上
事業の概要	対象→一次予防・二次予防事業対象者 プログラム内容 ①講話(不活発病、嚥下、口腔衛生) ②歯みがき指導 ③お口の体操、だ液腺マッサージ ④歌唱 ⑤アンケート
住民への周知方法	市区町村の広報誌 地域包括支援センターに通知
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2～3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会 医療・介護・福祉施設

介護 65

事業名	地区高齢者サロン(歯科衛生士による教育)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者の口腔機能低下予防、全身の健康保持、増進
事業の概要	(1)高齢期の口腔の状態の変化について (2)健口体操(むせ食べこぼし、ドライマウス、肺炎予防のための体操)深呼吸、首の体操、肩の運動、顔頰のストレッチ、舌のストレッチ、唾液腺のマッサージ、パタカラ発声等 (3)PHチェックシート するめを食べる前後 (4)オレオクッキーを食べた後の口腔の状態をチェック、うがいの仕方
住民への周知方法	回覧板 健康推進員による声かけ
実施の方法	その他
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	その他在宅歯科衛生士

介護 66

事業名	おいおい教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	特定高齢者に対し生活機能の維持・向上
事業の概要	摂食・嚥下機能の低下を予防することを目的とし、口腔の清掃方法、摂食・嚥下機能の機能訓練等の指導を行う。 日程:1クール=月2回×3か月=6回 料金:600円(口腔清掃用具、検査キット代など) スタッフ:歯科衛生士
住民への周知方法	その他
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

介護 67

事業名	元気アップ大作戦
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	一般及び特定高齢者の口腔機能向上
事業の概要	運動機能、口腔機能、食生活、認知機能、生活習慣を効果的に向上させるために、地域及びセンターで複数回のコースで教室を実施。地域においては、対象者の健康状態や年齢層、地域の状況に合わせて開催回数を設定。
住民への周知方法	回覧板 ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 地域で口声かけ
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	6
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

介護 68

事業名	歯ッピーライフ教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	いつまでも、おいしく食べて話すために、口腔ケア、健口づくりに取り組む。
事業の概要	概むね60才以上を対象に、4回1コースと2コースの教室を実施。歯科衛生士と言語聴覚士による教室で、口腔に関する講話や染め出し実習などを実施。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	
財源	国 都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	28
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

介護 69

事業名	口腔機能向上教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	高齢者口腔機能向上
事業の概要	65歳以上の介護予防として、口腔機能の正しい知識の普及と口腔機能の低下が見られる方に対しての口腔体操や口腔機能向上を目指した講義と実践指導
住民への周知方法	ポスター 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	1
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	医療・介護・福祉施設

介護 70

事業名	介護予防事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の向上
事業の概要	・健康チェック(血圧測定、体組成計、健康相談) ・認知症予防について ・健康な口(健口)は健康のみなもと！ 歯科衛生士よりお口の健康についての話 ・かむちからの話 ・かみごたえのあるおかずの試食
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 食生活改善推進協議会

介護 71

事業名	訪問型介護予防事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	介護予防
事業の概要	・生活機能評価で口腔機能の低下がみとめられた方への支援 ・地域のサロンや集会へ参加し、口腔に関する健康教室を行っている。平成22年度末よりげんき輝きづくり支援事業として集団指導、個別指導を行っている。 口腔ケア研修会を開き歯科衛生士、歯科医師とも連携しレベルアップをはかっている。 市内の栄養士、保健師も事業に参加し、個別での関わりが必要な方にはプランをたて訪問を行っている。
住民への周知方法	テレビ 市区町村の広報誌 告知放送
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	27
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 医療・介護・福祉施設

事業名	おいしい教室(介護予防、口腔機能向上教室)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者の口腔機能向上のための体操や、個別歯科検診で、生涯口から栄養をとり健康な自立した生活を維持する。
事業の概要	介護保険地域支援事業の2次予防事業として、口腔機能向上及び栄養を合わせた事業。 「おいしい教室」の名称で生活機能評価チェックリスト該当者に、年間2クール(3か月4回実施)初回、町内歯科医による歯科検診を実施。初回、歯科検診後歯科衛生士によるアセスメントシート作成、個別の義歯やブラッシング指導、口腔リハビリの指導、個別終了後、集団指導を行う。 スタッフは、管理栄養士、歯科衛生士、歯科医師、保健師、介護福祉士、健康運動指導士 個別指導の待ち時間は、健康運動指導士による運動を実施 また、3ヶ月間、宿題として日々、口腔機能向上体操、最終日に歯科検診及び評価を行っている。 国保の調整交付金(200万/年)を受け、平成8年度に在宅寝たきり者の口腔ケア事業を町内歯科医の指導で立ち上げ、その後、妊婦、乳幼児、学童、生徒、成人、高齢者とすべての町民を対象とした各期に対応した歯科保健事業を実施している。 連携を取りにくい教育現場も現在では養護教諭や校長等の理解で町内中学校3校、小学校6校、高校1校、保育所、幼稚園5か所、すべてに年間2回ずつ個別及び集団指導に歯科衛生士が出向いている。
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	6
結果(成果)	健康計画及び、高校生の歯科調査
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 医療・介護・福祉施設

介護 73

事業名	介護予防(二次予防)事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	高齢者が要介護状態にならない様に生活機能の維持向上の支援
事業の概要	地域包括支援センターが行った介護予防ケアマネジメントの結果により、口腔機能低下がみられる対象者に対して、3か月間5回の通所型介護予防教室を実施している。 その中で個別の事前、事後アセスメントをふまえての別指導、運動、栄養の指導もプログラム内に取り入れて、集団しながら歯と口の健康を保ち、いつまでもいきいきとした生活がおくれるよう支援している。
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	130
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 地域包括支援センター(保健課) 歯科保健センター(保健課)

介護 74

事業名	口腔ケア普及啓発推進事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者の食べる楽しみ、低栄養の予防、誤嚥、窒息予防等の正しい知識の普及啓発
事業の概要	平成18年度に介護保険の大幅な見直しが行われ、介護予防が重要視されてきたことに基づき、高齢者が自主的に取り組める介護予防事業の1つとして歯科医師会、社会福祉協議会、地域包括支援センターが連携して「口腔ケア事業」を実施。 要点として大きく3点を掲げ実施。 ①口腔の健康を保つ(かかりつけ歯科医をもち定期的受診) ②食べる機能を保つ(口腔機能向上体操の普及) ③食べる環境を整える(適切な食物形態、食環境)
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	その他
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 医療・介護・福祉施設

介護 75

事業名	歯つらつ体操
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	食事をよくかんでおいしく食べるために口腔ケアに関する意識を高め、セルフケア能力の向上を図る。
事業の概要	健康相談や、地区組織の集まりの際に、歯つらつ体操の普及を行う。 パンフレットを配布して、資料の説明や実技指導を行う。 地区組織のメンバーは習得した内容を、各地区の会員に普及する。
住民への周知方法	回覧板 防災無線、健康カレンダー
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	154
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

介護 76

事業名	口腔機能向上講座
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	介護予防
事業の概要	自地区主催でおこなわれているふれあい体操(介護予防の二次予防事業後の受皿として、おおむね65才以上を人を対象に、運動等を公民館で実施)に歯科衛生士を派遣し、口腔機能向上の講座を実施。
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科衛生士会

介護 77

事業名	介護予防教室出前講座
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 その他
事業の目的	生活の状態を向上させ、要支援、要介護状態への移行を予防する。
事業の概要	・地域包括支援センターにおいて、介護予防事業の実施が必要とされた特定高齢者に対し、口腔機能向上事業を実施する。 ・高齢者の方がいつまでも健康で楽しい生活を送るためにさまざまな分野から介護予防に関する出前講座を開催する。
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

介護 78

事業名	歯つらつ健口塾
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	口腔機能低下のみられる方を対象に、口腔機能の改善に必要な知識や習慣を知ってもらい、口腔機能の維持・向上を図る。
事業の概要	・3ヶ月間6回コース × 4クール
住民への周知方法	基本チェックリストの口腔該当者へ電話かけ
実施の方法	単独で実施
財源	国
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会 地域包括支援センター

介護 79

事業名	いまいき健口教室
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	口腔機能の向上
事業の概要	対象者:一般高令者と特定高令者 内容:口腔機能の向上をめざした、口腔マッサージ、歯みがきの方法 回数:3回
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	包括支援センター

介護 80

事業名	口腔機能向上事業
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能向上プログラムを実施し口腔機能低下の予防、改善を図る。
事業の概要	二次予防事業対象者に対して、3か月間6回をスクールとし、口腔機能向上サービスを通所又は訪問で、市歯科医師に委託し実施する。
住民への周知方法	対象者に個別に案内訪問等
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会

介護 81

事業名	介護予防事業
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能低下がもたらす誤嚥性肺炎やコミュニケーション障害の予防
事業の概要	口腔機能の基礎知識を学習し、口腔機能の必要性を理解してもらう。また、口腔機能向上の訓練法を学び、口腔清掃においても支援し、セルフケアにつなげられるようにプログラムを実施する。 対象者: 二次予防事業対象者でチェックリストに2項目チェックのあった人 実施回数: 6回/3か月 場所: 交流センター 時間: 10～12 時 内容: アセスメント、健口講話、口腔機能向上トレーニング、評価
住民への周知方法	市区町村の広報誌 その他
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

- その他（妊婦対象とか歯周疾患予防目的といった単独的な事業でなく、複合的な目標を設定した事業、少人数で健診から指導までを複数回にわたって行う事業、サポーター養成事業、イベント的な事業、歯科ドック、口腔がん検診など）（70 事業）

その他 1

事業名	全町1日健康の集い
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健康高齢者 要介護高齢者 その他
事業の目的	健康思想の普及と生活習慣改善意識啓発
事業の概要	お口の健康チェック、母子成人高齢者等、全町1日健康の集い参加者を対象に歯科医師、歯科衛生士により口臭チェック、歯科相談・歯科診察を実施する。
住民への周知方法	新聞 ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 関係機関への案内文送付
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	187(歯 6)
結果(成果)	口腔・歯科のケア意識向上
連携機関	歯科医師会

その他 2

事業名	成人歯科相談
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周病予防と口腔ケアに関する知識の普及啓発
事業の概要	・対象者全員に歯科アンケートを実施。 - その結果から具体的に改善すべきアドバイスをを行っている。 - 必要者には歯ブラシ・補助的清掃用具の使用法を実際に行っている。 ・歯周病パネルの展示。 ・サリバスターテストの実施。
住民への周知方法	世帯毎に郵送
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	保健所

その他 3

事業名	成人歯科相談
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上) その他
対象者	要介護高齢者 その他
事業の目的	歯についての関心を高め、歯周病の予防、進行の阻止、歯の喪失の防止を図る
事業の概要	・対象:元気教室(町で実施している機能訓練事業)参加者 ・日程:年1回(10月頃) ・場所:総合福祉センター ・内容:歯ブラシや義歯洗浄、誤嚥性肺炎のことにつて、口の体操口腔ケアの製品紹介
住民への周知方法	元気教室登録者に手紙で周知
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	なし

その他 4

事業名	8020さわやか健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健康高齢者
事業の目的	成人の歯科健診を行うことで8020をめざす。
事業の概要	成人歯科健診 問診→歯科健診(歯科医師)→歯科保健指導(歯科衛生士)
住民への周知方法	回覧板 他の健診の案内にあわせる。
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 5

事業名	レディース検診時の歯科相談
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯のセルフケアの周知
事業の概要	レディース検診(乳ガン、子宮ガン検診受診者)の待ち時間での歯科相談無料
住民への周知方法	新聞 ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

その他 6

事業名	歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯周疾患やう歯など、予防、早期発見、治療を図る。
事業の概要	健康診査、がん検診等と同日・会場で実施、(今は都合により中止) 歯科診察、相談・指導を実施
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会 保健所

その他 7

事業名	成人歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	口腔病変の早期発見、早期治療をはかり、適切な保健行動がとれることでQOLを高める。
事業の概要	集団の特定健診受診者全員に歯科健診を実施する。 歯周疾患などにより治療が必要な人には、結果票を持参し、歯科医院を受診するよう勧める。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 特定健診の案内にて周知
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	12
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 8

事業名	成人歯科相談(デンタルフロスの普及)
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦
事業の目的	デンタルフロスの普及、歯周病予防
事業の概要	・デンタルフロスの必要性 ・歯周病について ・歯科の定期受診のすすめ ・タバコの影響について
住民への周知方法	乳児相談の呼出(郵送で通知) 母子健康手帳交付日子の案内
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2 から 3
結果(成果)	デンタルフロス使用者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 9

事業名	幼児保護者対象ペリオスクリーン検査(現在事業名はなし)
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	口腔状況について考えてもらうことと、歯科健診受診のきっかけとなること
事業の概要	1歳6か月児健診に来所した保護者(祖父母なども含む)を対象に、健診受診時にペリオスクリーン検査を実施。 結果の判定は、市職員の保健師・看護師が行い、判断に迷う場合は、1歳6か月児健診の歯科診療に従事する歯科医師に判断をお願いする。 検査結果は、市で作成した結果用紙に記入して、1歳6か月児健診の結果説明時に、お渡ししている。 結果が陽性の場合は、歯周病の疑いがあるということで、受診を促し、陰性の場合も、年1回の歯科健診の必要性を伝えている。
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	24
結果(成果)	今年度末に把握予定
連携機関	歯科医師会

その他 10

事業名	平成23年度いきいき健康づくり講演会
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	住民が主体的に取り組む健康づくりの方法を理解し、健やかに心豊かに暮らすことができる。
事業の概要	対象:全市民 テーマ:歯周病について～悪化させる生活習慣～ 日時:平成 23 年 11 月 28 日 14～15 時(講演会) 15～15:20(健康寸劇:保健協力員による「山田家の食卓～禁煙は愛～」) 15:20～16:20(相談・検査コーナー:歯・たばこの相談コーナー、歯周病検査や体内の残留タール検査等) バス送迎 評価:アンケート プロセス評価:日程や会場、時間は適切だったか、住民の興味を引くテーマや内容だったか アウトプット:参加人数、正しい知識が理解できたか
住民への周知方法	ダイレクトメール ラジオ ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 保健協力員のPR活動
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	10
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 市保健計画に基づきこれから調査予定
連携機関	歯科医師会

その他 11

事業名	イー歯トーブサポーター養成研修会 8020推進サポーター
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	8020 運動をさらに拡大・推進していくため、地域・団体における歯科保健推進のリーダーとして期待できる地域住民、医療・教育・福祉・研究機関における関係者、各種団体における関係者等を「8020 推進サポーター」として育成し、住民参加型の歯科保健事業を展開することを目的として実施する。 また、地域住民が主体となって子どもの齲蝕予防や咀嚼機能の発育を支援するため、「8020 推進サポーター」を活用し、地域の子育て力の向上並びに子どもの歯科保健医療への関心や意識、行動の向上を図る。
事業の概要	地域住民、医療・教育・福祉・研究機関における関係者、各種団体における関係者等を対象として 1,000 名ほど養成する。 研修会運営：各地区歯科医師会 研修内容(講義、実技)：8020 運動の意義など 研修時間：3 時間程度 研修会開催期間：8～12 月 研修終了後、認定証を交付する。 8020 推進サポーターの活動：各種の歯科保健活動の場において歯科指導、講話等並びにそのサポートを行う。 ①出前講座による体験学習 ②市町村の乳幼児歯科健診 ③学校、保育施設における歯科保健指導 ④各地区歯科医師会イベントやキャンペーン等 受講料：無料
住民への周知方法	ポスター 市区町村の広報誌 その他
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	30 から 40
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 医療・介護・福祉施設 歯科技工士会、栄養士会、教育委員会他

その他 12

事業名	成人歯科教室
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上) その他
対象者	その他
事業の目的	むし歯や歯周病について理解し、歯磨きの仕方を習得することにより自分自身の口腔内を清潔に保ち、ひいては健康的な生活を送ることができるようになる。また、口腔機能について学習し、機能の低下を予防・改善することにより身体的、精神的さらには社会的にも健康な生活を送ることができるようになる。
事業の概要	対象者: 保健推進員, 成人歯科教室参加希望者等 内容: 下記 4 コースから選択 ①成人期の歯科疾患について ②歯周病予防について ③口腔機能と口腔ケアについて ④要介護者の口腔ケアについて
住民への周知方法	保健師より保健推進員へ周知
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	各回、歯科衛生士 1 名
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 保健推進員さんを窓口として、地区の町内会からも教室実施の依頼があった
連携機関	なし

その他 13

事業名	口腔ケア教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	高齢期の口腔の向上と生活の質の向上
事業の概要	各地区から選出された健康推進員の研修会として「口腔ケア教室」を実施。 健康推進員の口腔ケアに対する知識を深めるとともに、地域住民に伝達し、広めていく。 その際パンフレットや歯ぶらしを配付しながら、研修会で学んだことを普及する。
住民への周知方法	健康推進員活動
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	58
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

その他 14

事業名	健康運動サポーターによる健口体操の普及
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	介護予防(口腔機能向上)
事業の概要	健康づくり地区組織である健康運動サポーターの活動の1つとして。 口腔機能向上のため、健口体操を取入れている。 対象は、地域の高齢者サロン、老人クラブ、ディサービス等である。
住民への周知方法	その他
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	20
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	医療・介護・福祉施設

その他 15

事業名	2歳児歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	2歳児健診の同伴した保護者の歯科健診を実施し、歯科保健への関心を高めるとともに、子どものむし歯予防につなげる
事業の概要	2歳児歯科健診、子どもと保護者の歯科健診を同時に実施し、その結果をみながら、歯科衛生士の歯科指導をうけてもらう。 また、子どもには、歯の染め出し、希望者には、フッ化物塗布を行っている。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1 回につき 9
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 16

事業名	歯の健康相談(基本健診時歯科相談)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	若い年代のうちから、正しい知識と技術を身につけることで歯周疾患予防になる
事業の概要	・基本健診(20から39歳以下)対象者に、個人通知で周知し、予約制で行なう。 ・歯科相談は基本健診日の午後に実施する。 ・スタッフは歯科医師、歯科衛生士、保健師。
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	48
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 17

事業名	歯周疾患検診事後指導講習
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	生活習慣病に関する正しい知識を普及し、住民の健康意識を高め、自ら生活習慣を見直し、行動変容できるようにする
事業の概要	歯周疾患検診(40、45、50、55、60、65、70歳)を受診した人に対して実施するとともに「けんこう塾」の1コースとして実施している。歯科医師の講話、歯科衛生士によるBr指導を1時間半の時間内で行う。
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 18

事業名	ファミリー歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦
事業の目的	定期的な歯科健診を受ける機会の確保
事業の概要	乳幼児から高齢者まで年齢を問わず、希望する市民が誰でもすぐに受診できるよう年間24回(月2回)実施している。 家族全員が一度に受診でき、指導も受けられる。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 チラシの配布
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	72
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 19

事業名	いきいき町内会ヘルスアップ事業・口腔ケアとブラッシング指導
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	生活習慣病予防・地域コミュニティの活性化
事業の概要	地域に出向いて講話や実技を組み合わせた健康教育を実施 派遣講師:健康運動指導士, 歯科衛生士, 管理栄養士, 保健師 講師料:無料
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2 から 3
結果(成果)	有病率の減少 正しい知識を持つ者の増加 地域コミュニティの活性化
連携機関	歯科衛生士会

その他 20

事業名	歯科イベント
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健康高齢者
事業の目的	住民対象とした歯科口腔保健サービス
事業の概要	成人:歯周疾患等検診(成人歯科健診)20歳以上 ・ブラッシング指導 幼児:歯科健康診査 ブラッシング指導 フッ化物塗布
住民への周知方法	ダイレクトメール ポスター ホームページ
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	14
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 21

事業名	わんぱく歯科くらぶ
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	幼児の健康な口腔の育成を図るとともに、保護者自身の口腔疾患を予防する
事業の概要	2歳児のむし歯予防を目的とした3回連続の教室。 その保護者に対して、1回目、2回目の教室で、歯科衛生士が個別にブラッシング指導を行い、3回目の教室では、10人程度のグループに対し補助道具(デンタルフロス・歯間ブラシ)の実習を行っている。 ・標準的な成人歯科健診プログラムの質問項目をアレンジして使用している ・子供の教室のついでに健康教育を受けることができる。
住民への周知方法	ポスター ホームページ
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4 から 7
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 22

事業名	依頼による健康教育
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	地域ぐるみでの生涯を通じた健康づくり、一次予防の推進
事業の概要	町会等のサロンや老人会、サークルなどの単位で申込みをいただき、希望テーマについて、健康講座を実施する。
住民への周知方法	ホームページ ちらし
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 地域ボランティア

その他 23

事業名	血管いきいき教室
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	生活習慣病予防の取り組みで、身近に取り組むことができるきっかけを支援する。
事業の概要	「体の中からリフレッシュ、血管いきいき教室」と題し、血糖値やコレステロールなど血液検査データーがちょっと気になり始めた人や、生活習慣が気になる人を対象に、生活で身近に行える食事、歯みがき、運動についてを、実習を含めて学ぶ。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 特定健診結果通知にリーフレットを同封
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	6
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

その他 24

事業名	口元からアンチエイジング教室
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	アンチエイジングの視点を導入し、抗加齢医学の最新情報の知識の習得、また、口からのアプローチとして、口腔の健康に対する自己管理や筋機能療法を取り入れたフェイシャルトレーニング方法を習得することにより、「いつまでも若々しく自分らしく生きる」生活の質と全身の健康の保持・増進を目的とする。
事業の概要	対象:おおむね 40 歳以上 64 歳以下の要介護(要支援)認定を受けていない者 場所:保健所 期間:約 3 ヶ月 時間:午後 1 時半～3 時半 回数:6 回コース 定員:18 名程度 評価:オーラルチェック(口腔診査, カンジダ検査, 刺激唾液量, 安静時唾液量, CPI, オクルーザルフォースメーター, RSST)フェイシャルトレーニング実施記録票, 事前・事後アンケート
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 ちらし
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	17
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	大学

その他 25

事業名	歯科講演会
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周病予防
事業の概要	・歯科医講演ー歯周病とは、予防法 生活リズム、など ・口臭測定 ・ブラッシング指導(模型で) ・ブラシ圧測定
住民への周知方法	ポスター 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 26

事業名	歯科健康教育事業(むし歯予防教室、歯科巡回教育での保護者向け教室)
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周病に関する知識や予防に効果がある歯間清掃用具の普及を図る。
事業の概要	子育て中の方も対象に子どものむし歯予防教室(対象8か月から1歳0か月)や幼稚園、保育園への歯科巡回教室と同日開催。 忙しい保護者の方も子どもの歯の話と同じ機会に知ることにより、家族で歯の健康を考えるきっかけづくりとなるよう実施している。 実施内容 歯周病についての講話、歯間清掃用具の普及(実習あり)
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1 から 4
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	市単独で実施

その他 27

事業名	お口の健康サポーター(健応づくり応援団事業)
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上) その他
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	お口の健康づくりボランティアによる普及啓発の推進
事業の概要	「お口の健康サポーター」として、市民から募集、養成したボランティアにより、健口体操の実演など歯科保健の普及啓発活動に協力してもらう。
住民への周知方法	市区町村の広報誌 チラシ
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 市民ボランティアの活動
連携機関	医療・介護・福祉施設 介護予防地域支援事業

その他 28

事業名	歯と歯ぐきの相談
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	健常高齢者
事業の目的	歯周病予防と歯間ブラシの普及啓発
事業の概要	歯科衛生士による口腔内の清潔保持、う歯及び歯周病予防、歯間ブラシの使い方について、個別の相談に応じる。 1人あたりに15から20分程度。
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	21
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

その他 29

事業名	口腔がん検診
対象歯科疾患	口腔がん
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	口腔がんの早期発見・早期治療
事業の概要	歯科医師会に委託、事前申込制(定員55名)で年4回実施、自己負担あり(¥1,000)
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	14
結果(成果)	前がん病変(要精検)の発見
連携機関	歯科医師会

その他 30

事業名	市政さわやかトーク宅配便
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上) その他
対象者	健常高齢者
事業の目的	市民に市政への理解を深めてもらい市民を行政との協働の基盤づくりを図る。
事業の概要	全市的に行われている「市政さわやかトーク宅配便」に「知ってそうで知らない！？口の中」というテーマを設けている。 団体・グループ等から指定していただいた会場に市職員が出向き、事業や施策の説明をする他、それらに関連して健康教育的な講話を同時に行っている。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

その他 31

事業名	健口教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	口腔機能の健康を自己管理できる実践力を身に付ける。
事業の概要	学習会 ・口腔ケアの基礎知識 ・歯周病と生活習慣病との関係 ・嚥下の仕組みについて ・歯科のかかり方について ・口腔機能を高めるための食生活 口腔内セルフチェック法の指導 染め出し体験とブラッシング指導 唾液腺マッサージ指導
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

その他 32

事業名	歯科相談
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上) 口腔がん
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	住民の健康増進を図る、介護予防
事業の概要	・生活習慣病健診の会場にて、歯科衛生士による歯科相談を個別に実施する。
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3(歯科衛生士 2 名 保健師 1 名)
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 33

事業名	成人歯科健診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 口腔がん その他
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦 健常高齢者
事業の目的	市民のお口の健康に対する意識を高め、8020をめざした口腔と歯の健康づくりを目指す。
事業の概要	集団健診会場において、歯科健診、および歯科保健指導を実施する。 個別指導は、受診者の口腔内状態の改善とそのための行動変容に繋がるような指導、支援を行なう。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 34

事業名	歯科相談
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯科に興味をもってもらう身近で相談できる場所の確保
事業の概要	総合健診(特定健診及び各種がん検診)の会場で、受診者に対して 歯科相談と実施 45日間2名ずつの在宅歯科衛生士の対応で実施 歯や歯肉のチェック、歯みがき指導、受診の仕方、口腔内の相談等 幅広い内容の相談指導を行っている。
住民への周知方法	健診のお知らせ
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	90
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

その他 35

事業名	歯の健康講座
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周病予防のための自己管理ができるよう支援する
事業の概要	主に乳幼児学級に参加している母親(20から40代)を対象に歯周病 について理解を深めてもらための講話・ブラッシング指導個別相談 等を実施
住民への周知方法	その他
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

その他 36

事業名	歯科ドック事業
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	口腔疾患の早期発見, 早期治療を促し, 必要に応じて保健指導の機会を提供する。
事業の概要	①問診 ②口腔内診査 ③唾液検査 ④パノラマレントゲン ⑤歯科相談 年 1 回 個人負担: 無料
住民への周知方法	ダイレクトメール 新聞 テレビ ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 37

事業名	歯周病予防啓発チラシ及び掲示物の配布
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦 健常高齢者
事業の目的	歯周病予防の啓発
事業の概要	歯科保健推進会議内で地域診断に活用する為の口腔の健康に関する市民アンケート(集計144百人)を実施した結果、歯周病に関する正しい知識の普及が必要という課題があがったので、チラシ、掲示物を作成し、歯科保健推進会議委員を通じ、自治会、商工会、医師会、歯科医師会、薬剤師会会員事業所等へ約1万部配布した。
住民への周知方法	回覧板 ポスター 関係団体及び各事業での配布
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 医療・介護・福祉施設 自治会・商工会・歯科衛生士専門学校

その他 38

事業名	障害者施設での口腔ケア
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	自立して口腔ケアを行えるように毎月来所して指導を行う。
事業の概要	障害者施設へ1ヶ月あるいは2ヶ月に1回来所し、歯科衛生士2名が指導を行う。 施設より依頼で実施。 健康増進事業で行う。
住民への周知方法	ダイレクトメール 回覧板 ポスター 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 39

事業名	8020推進研修会
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	8020に関する知識の取得と普及
事業の概要	・歯科医からの講義「歯周疾患の予防について」 ・歯科衛生士によるブラッシング指導
住民への周知方法	市区町村の広報誌 ちらし
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 県

その他 40

事業名	成人健康診査事業
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	歯科疾患の予防、早期発見、早期治療をすすめる。
事業の概要	市民の歯と口腔について考え活動を実施する委員会を設置している。 年齢階級(3グループ)に分かれてそれぞれ話し合い、活動している。
住民への周知方法	ダイレクトメール ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 パンフレット
実施の方法	その他
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	約 4
結果(成果)	受診者数の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 保育園、幼稚園、小・中学校

その他 41

事業名	成人歯科健診事業(集団方式)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健康高齢者
事業の目的	生産健康な自分の歯で食べることができることを目標とし、成人期から増加する歯周病の予防を中心に、歯科口腔衛生の周知、啓発をし、疾病の早期発見・早期治療を推進する。
事業の概要	事業内容： (1) 歯科健診(歯牙・歯周病状況、口腔内所見等) (2) 受診者へ健診結果説明事後フォロー(成人歯科健診後、医療機関より受診状況報告) (3) 個別指導 補助的用具の使用方法、歯磨き指導 日時：毎月第2木曜日・奇数月第4木曜日 年間18回
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 42

事業名	65歳 口腔がん・歯周病健診 ～お口の病気の相談～
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 口腔がん
対象者	健常高齢者
事業の目的	発病率の高くなる年代に対し、歯周病だけでなく、口腔がんへの関心を高め、予防、早期発見治療を促す。
事業の概要	・口腔粘膜(口腔がん)、歯周疾患 ・歯牙の健診と相談 ・口腔がんミニ講話 ・セルフチェック(唾液潜血反応) ・個別保健指導
住民への周知方法	ダイレクトメール 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	26
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 43

事業名	生活習慣病予防教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	生活習慣病の中でも特に糖尿病について、その基本や予防の必要性について学ぶ。
事業の概要	全4回 1回目「もしかして糖尿病」医師 2回目「糖尿病とお口の関わり」歯科衛生士 3回目「糖尿病の食事ってどうすればいいの？食事の悩みにお答えします」管理栄養士 4回目「健康な体づくりに楽しさを」運動指導士 定員:20 名 費用:無料
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 チラシを作成し、様々な事業で配布
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	8
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	医院

その他 44

事業名	7022推進事業
対象歯科疾患	その他
対象者	その他
事業の目的	市民の歯科保健に関する意識の向上を図る。
事業の概要	「7022」該当者を市のイベントで顕彰 ・対象－4月1日現在、満70歳の市民 ・把握方法－6・7月に指定歯科医療機関(170件)にて「※70歳歯科健診」を受診した人のうち、22本以上残在歯が有る人を顕彰(例年9月中旬) ※対象者全員に個人通知(受診券)、歯科医師会に委託。
住民への周知方法	ダイレクトメール ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	7
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 45

事業名	健康診断時、歯の健康づくり得点のチェックと啓発
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯の健康づくりに関心をもってもらう。
事業の概要	集団 健康診断の待ち時間を利用し、「歯の健康づくり得点」のアンケートに記入してもらい、得点を書いてお返しする。 かかりつけ医をもつこと、歯みがきを実践することなどの啓発を行った。
住民への周知方法	健診を受けに来た人へその場で
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	6
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	保健所

その他 46

事業名	成人歯科保健教室
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 その他
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	8020推進、特に壮年期の歯周疾患予防
事業の概要	地区文化祭の健康コーナーの1つとして開催 ①歯科衛生士によるミニ健康教育(5分程度の講話、テーマは歯周病など) ②歯科衛生士によるブラッシング指導(歯間ケアグッズ使用のすすめも行う) ③歯科医師による歯科健診
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 47

事業名	健康ひろば
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	その他
事業の目的	健康確認と予防対策
事業の概要	健康相談(血圧測定、尿検査、体重、体脂肪チェック、健康相談等) 健康教室(健康についての教室を実施、その中で歯科衛生士を迎え、歯についての講話と歯科指導を実施。)
住民への周知方法	回覧板
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 48

事業名	歯周疾患予防健康教育
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高齢者の歯科介護予防
事業の概要	健康推進員が主催する高齢者サロンに歯科衛生士から歯(入れ歯)の手入れ方法、口腔体操の実技をしながら説明を受ける。
住民への周知方法	健康推進員を通じて
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	歯科衛生士 1
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

その他 49

事業名	生涯歯科保健推進事業
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	市民の歯科保健意識の向上を図るため。
事業の概要	・歯科保健に関する内容の講演会を、各24区において実施する。 ・講演会開催時に歯科相談会場を設け、希望者を対象に歯科医師が個別の相談に応じる。 ・「歯の健康」の重要性を啓発する小冊子を作成し、講演会会場や、歯科医師会が催す市民向け行事等で配布する。
住民への周知方法	歯科医師会加盟歯科医院での広報
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	23 年度 211
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 50

事業名	8020健口講座
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	8020をめざし自身の歯と口の健康づくりができる実践者の育成とその知識の普及啓発
事業の概要	口腔ケアや口腔機能等に関する教室を保健センターで実施し、教室受講終了者の希望者は8020メイト会に入会し教室で得た知識を具体的に家族や地域の方々に伝えていただき、8020の実践者を増やす。
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	約 250
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	

その他 51

事業名	シニア向けお口の健康づくり媒体作成と啓発活動
対象歯科疾患	介護予防(口腔機能向上)
対象者	健常高齢者
事業の目的	高校生や大学生と協働し、高年期向けのお口の健康づくり教材の作成を行い、青年期の人がお口の健康づくりに関心を持ち、さらに高齢者にも楽しくお口の健康づくりを進めてもらう。
事業の概要	①高年期向け歯科保健冊子の作成 ②高年期向けお口の健康づくり体操 DVD の作成 ③食の育みフォーラムの開催 ④高校生と作る「かむかむメニュー」クッキングの開催 ⑤お口の健康づくりハンドブックとDVDを用いての歯科保健啓発活動 ⑥ハンドブックとDVDを配布し家庭や関係機関、団体での取り組みが活発になり、お口の健康づくりにかかる食育活動を行えるように支援する。
住民への周知方法	テレビ ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 大学 老人会、高校

その他 52

事業名	骨・歯セット健診
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	集団教育・健診・相談を通して予防の重要性及び疾患の早期発見早期治療に努める。
事業の概要	受付→集団教育(栄養士・保健師)→骨粗しょう症検診→歯科健診→歯科・栄養・健康相談
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	104
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 53

事業名	歯と口の健康セミナー
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上) その他
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦 健常高齢者 要介護高齢者
事業の目的	歯と口の健康に関する正しい知識の普及、啓発と、それにより生涯を通じて健康な生活を維持できる市民の増加
事業の概要	拠点施設(予防歯科センター)での、歯科医師による講座と、出張セミナーとして、地域の団体など、グループからの希望により、設定された場所へ歯科医師、歯科衛生士が出向き、講話を行う。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 チラシ
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	市歯科医師会 地域歯科衛生士グループ

その他 54

事業名	歯科健診(まちぐるみ健診とセット)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 口腔がん
対象者	その他
事業の目的	歯周疾患だけでなく、顎関節や口腔粘膜も調べて口腔内の病気の早期発見
事業の概要	歯科医師1名、歯科衛生士2から3名(受診者数によって変わる)でまちぐるみ健診時、歯科健診と歯科保健指導(ブラッシング指導)を行う。 H24年から歯周病だけでなく、口腔粘膜の健診も行うようになり、健診日が日曜日以外全日程で行う。
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3~4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 55

事業名	特定健診+骨密度+歯科のセットけんしん
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20~60 歳 健常高齢者 その他
事業の目的	成人の受診者を増やす。
事業の概要	特定健診と骨密度測定と歯周疾患検診のセットけんしん
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 チラシ
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	21
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会 国保連合会・健診委託業者

その他 56

事業名	口腔がん・粘膜疾患検診
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上) 口腔がん
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者 その他
事業の目的	成人・高齢者の歯科保健意識の向上から子どもの歯罹患率の低下を目指す口腔粘膜疾患と顎関節疾患の早期発見
事業の概要	住民健診にて一般健診を受診した方を対象に、口腔内・顎関節の検診及び口腔ケア指導を歯科口腔外科医師が行う(要項なし)。医大と連携
住民への周知方法	ホームページ 案内ちらし(全戸)
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	25
結果(成果)	健康行動実践者の増加 口腔内を清潔に保つ人が増えた。
連携機関	大学 直営診療所

その他 57

事業名	特定健診にあわせた歯科相談
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 その他
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	成人歯科の実態把握ならびに要治療者、要指導者に対する受診勧奨と指導
事業の概要	1、特定健診受診票送付にあわせて歯科アンケートを事前送付し、記入して健診当日持参。 2、保健師問診の際、アンケート内容のチェック。 3、歯科衛生士による口腔チェック、グミによる咬合力チェック、必要な方には歯科指導及び受診勧奨。 4、約1か月半後に実施する健診結果報告会の場で、保健師及び歯科衛生士が個別に歯科アンケートの結果返し。 5、特定保健指導該当者には歯科衛生士が個別指導食事、運動と併せて咬むことも含めた生活改善目標を設定。
住民への周知方法	ダイレクトメール テレビ ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	200
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 大学

その他 58

事業名	歯周病予防普及啓発事業
対象歯科疾患	歯周病
対象者	その他
事業の目的	歯周病予防に効果的であるデンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間部清掃用具を市民に啓発することにより、市民の口腔保健の向上を図る。
事業の概要	デンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間部清掃用具の使用は歯周病予防に効果的であるため、本市では市民の健康づくり計画である「元氣〇〇21」において、歯間部清掃用具を使用する人の割合を増やすことを目標に設定した。 しかし、歯間部清掃用具に関する情報が十分普及していなかったため、歯間部清掃用具の普及啓発を目的に平成17年度より本事業を実施した。 事業内容は ①歯間部清掃用具を継続的に使用し、歯周病予防に効果が認められる人を歯科医療機関から推薦を受けて、「ビューティフル歯ツシヨン賞」に認定する。 ②1歳6か月児健診受診者の保護者へ歯周病予防啓発用リーフレットを配布する。 ③保健センターのイベントでデンタルフロスとリーフレットを配布する。
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 チラシ
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	1
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 59

事業名	歯の衛生週間、いい歯の日にちなんだ健康講座
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯科保健について意識向上を図り、むし歯や歯周病を予防し、口腔機能低下を防ぐ行動へと結びつける。
事業の概要	対象者: おおむね20歳以上 周知方法: 広報、市ホームページ、各保健事業 従事者: 嘱託歯科衛生士 内容: 口腔機能の維持・向上について、ブラッシング指導、歯周病と生活習慣病の関係について、喫煙と歯周病の関係、定期的な歯科検診の必要性について
住民への周知方法	ポスター ホームページ 市区町村の広報誌 各保健事業でのチラシ配布
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加 かかりつけ歯科医院への受診
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 60

事業名	歯科相談
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 介護予防(口腔機能向上) その他
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	8020をめざし、いつまでも健やかな生活が送れるよう、歯や口腔内の健康と全身の健康との関係について理解を深めるとともに、自らの生活習慣を見直す機会とする。
事業の概要	内容: 歯周疾患健康教育(歯周病と全身のつながり、咀嚼力判定、歯科相談等) 対象者: 集団がん検診、特定健診受診者のうち、事前アンケート該当者および希望者 スタッフ: 歯科衛生士、保健師
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

その他 61

事業名	歯周病予防教室
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周疾患に関する正しい知識の普及、歯周疾患の予防を図り、8020運動を推進する。〇〇健康21の壮年期の歯の健康の取り組み普及啓発を図る。
事業の概要	対象者：40歳から64歳まで 定員：1回につき30人（予約制） 具体的内容：・オリエンテーション ・歯科医師による講話（歯周病とは、歯周病の原因、歯周病の予防方法、歯科健診の大切さ） ・質疑応答 ・「〇〇健康21」の説明 ・歯科衛生士によるブラッシング指導 ・唾液潜血テスト実施（ペリオスクリーン） ・アンケート
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 チラシで呼びかけ
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源（スタッフ延べ人数）	34
結果（成果）	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 62

事業名	歯周病と糖尿病の連絡票事業
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯周病と糖尿病の因果関係は深いと言われている。歯周病を改善し糖尿病予防に歯止めをかける。
事業の概要	特定健診糖尿病血糖検査（空）100mg／dl以上又はHbA1C（JDS値）5.2%以上の方に糖尿病と歯周病連絡票を配布し、歯科医院で歯周疾患検査を受けてもらう。
住民への周知方法	その他
実施の方法	単独で実施
財源	
人的資源（スタッフ延べ人数）	
結果（成果）	有病率の減少
連携機関	歯科医師会 医療・介護・福祉施設

その他 63

事業名	〇〇歯科塾
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳 健常高齢者
事業の目的	歯周病の発症、悪化予防のため、歯周病と生活習慣病との関連について情報提供をし、セルフケア能力の向上につなげる。
事業の概要	歯科衛生士による講義とブラッシングの実践指導。 (サリバスタを用いて、唾液検査も実施)
住民への周知方法	ダイレクトメール ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	単独で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科衛生士会

その他 64

事業名	歯ッピー教室
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	歯科にかかる医療費抑制
事業の概要	個別支援、グループ支援 計4回コースで実施。 (内容) ・口腔ケア、食習慣、生活習慣などに関する目標を設定 ・唾液検査、咬合力ガムテストを初回、評価で実施 ・歯科医師、歯科衛生士、栄養士による健康教育とグループミーティング ・修了者に対するアンケート、目標達成率、唾液検査 ・咬合力ガムテストの結果で評価
住民への周知方法	ホームページ 市区町村の広報誌 個人通知
実施の方法	単独で実施
財源	都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	10
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 65

事業名	健康教室(歯科成人保健マニュアルに基づき実施)
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	参加者に正しい口腔ケアの理解を高め、歯科保健に向けてのセルフケア支援を効果的に実施する。
事業の概要	特定健診後の情報提供対象者中40から64歳のHbA1C 5.2以上の人に対し歯科医師、歯科衛生士による歯科個別指導(成人歯科検診プログラム、保健指導マニュアル)を用いて)
住民への周知方法	ダイレクトメール 回覧板 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	国
人的資源(スタッフ延べ人数)	4
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 66

事業名	糖尿病予防教室
対象歯科疾患	歯周病
対象者	健常高齢者
事業の目的	歯周病と糖尿病の関係を知り歯周病予防の重要性を認識する。
事業の概要	・歯周病と糖尿病の関係 ・歯周病について(チェックシートによる確認) ・歯周病予防について ・赤染め ・ブラッシング指導
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	2
結果(成果)	健康行動実践者の増加
連携機関	

その他 67

事業名	健康展(歯と歯ぐきの健康教室)
対象歯科疾患	むし歯 歯周病 口腔がん
対象者	概ね健康な 20～60 歳 妊婦 健常高齢者 その他
事業の目的	市民の健康のため
事業の概要	・口腔がん検診(先着40名) ・歯科医師による検診 ・歯科衛生士による歯みがき指導
住民への周知方法	新聞 テレビ ポスター ホームページ 市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	12
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 68

事業名	ヘルスメイト養成講座での歯科保健教室
対象歯科疾患	歯周病 介護予防(口腔機能向上)
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	むし歯や歯周病に対する正しい知識の普及
事業の概要	ヘルスメイト養成講座のカリキュラムに歯科保健教室を入れており、歯科医師会に講師を依頼し、むし歯や歯周病予防について講義を行ってもらう。
住民への周知方法	その他
実施の方法	
財源	国 都道府県 市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	3
結果(成果)	正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会

その他 69

事業名	しろい歯 歯ミング教室
対象歯科疾患	歯周病
対象者	概ね健康な 20～60 歳
事業の目的	町民のセルフケア能力の向上と歯周疾患の予防を目的とする。
事業の概要	対象者:運動教室参加者および一般公募者 内容:歯科医師による講話、歯周病チェック、自己ケア指導(実技)、 歯科に関するアンケート
住民への周知方法	市区町村の広報誌
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村
人的資源(スタッフ延べ人数)	5
結果(成果)	健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 歯科衛生士会

その他 70

事業名	親子むし歯ゼロ大作戦
対象歯科疾患	むし歯 歯周病
対象者	その他
事業の目的	3歳児のう蝕の減少、養育者の歯と口の健康づくり
事業の概要	1 趣旨 1歳6か月児歯科健康診査と同時に、養育者への歯科健診を行い、その口腔内状態の改善や、う蝕予防に親子で取り組む意欲を高めることで、3歳児の「むし歯ゼロ」を目指す。 ※1歳6か月児・3歳児歯科健康診査を個別健診方式で実施 ※平成21から23年度:モデル実施、平成24年度:本格的に実施 2 内容 (1) 親子歯科健診の実施 ・対象者:1歳6か月児の母親等の養育者 ・実施方法:市歯科医師会に委託し、登録歯科医療機関で実施 ・料金:400円(生活保護受給者は無料) (2)1歳6か月児歯科健診後の健診結果の評価と3歳までのむし歯予防システムの検討
住民への周知方法	ダイレクトメール
実施の方法	他の事業と合同で実施
財源	市区町村 その他
人的資源(スタッフ延べ人数)	560 か所登録医療機関数
結果(成果)	有病率の減少 健康行動実践者の増加 正しい知識を持つ者の増加
連携機関	歯科医師会 大学